

SecureWare/Credential Lifecycle Manager

利用の手引き

EDMS オプション編

2022年6月

日本電気株式会社

はしがき

本書は、SecureWare/Credential Lifecycle Manager(以下、CLM と称します)の EDMS オプションについて説明したものです。

本書の構成は以下のとおりです。

章	タイトル	内容
1	EDMS オプションの概要	EDMS オプションの概要説明
2	WebAPI 実行コマンド	EDMS オプションが提供するコマンドについての説明
3	WebAPI	EDMS オプションが提供する WebAPI についての説明
4	WebUI によるデバイス管理	EDMS オプションが提供する WebUI についての説明

なお、関連説明書として、次のものがあります。

- ・ SecureWare/Credential Lifecycle Manager 利用の手引き
- ・ SecureWare/Credential Lifecycle Manager コマンドリファレンス
- ・ SecureWare/Credential Lifecycle Manager WebAPI リファレンス

2022 年 6 月 第三版

目次

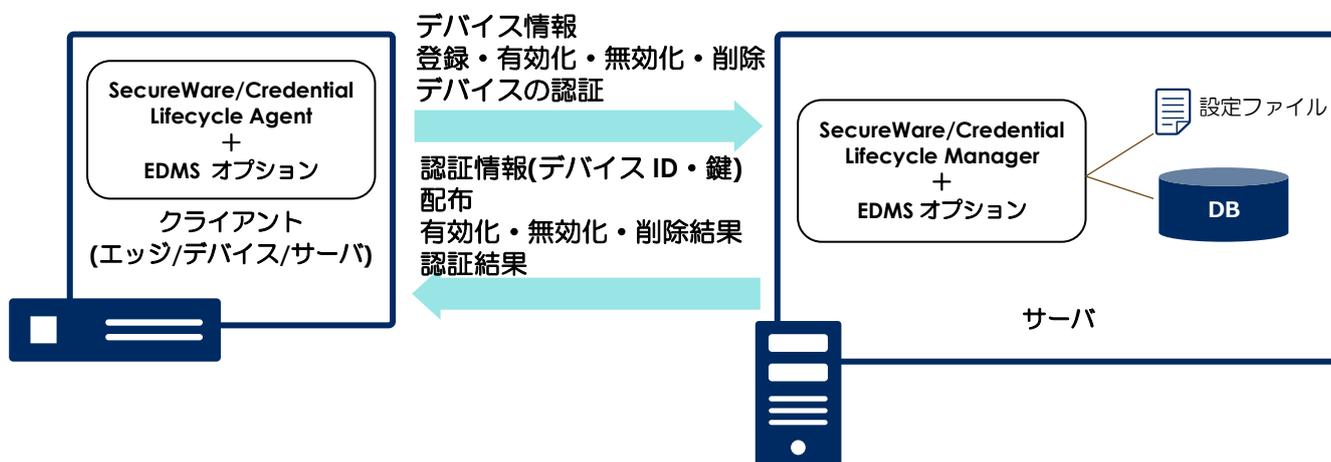
1	EDMS オプションの概要	5
1.1	主な機能	5
2	WebAPI 実行コマンド	7
2.1	WebAPI 実行コマンド	8
2.2	ID 鍵コマンド	9
3	WebAPI	41
3.1	WebAPI 一覧	41
3.2	デバイス管理 API	43
3.2.1	デバイス ID 登録 API	43
3.2.2	デバイス ID 認証 API	46
3.2.3	デバイス ID 無効化 API	48
3.2.4	デバイス ID 有効化 API	50
3.2.5	デバイス ID 削除 API	52
3.2.6	デバイス ID 一括登録 API	54
3.2.7	デバイス ID 一括無効化 API	58
3.2.8	デバイス ID 一括有効化 API	60
3.2.9	デバイス ID 一括削除 API	63
3.2.10	デバイス ID 情報更新 API	66
3.2.11	デバイス ID 一括情報更新 API	69
3.2.12	デバイス ID 情報取得 API	73
3.2.13	デバイス ID 情報検索 API	77
3.2.14	デバイス ID 鍵情報取得 API	80
4	WebUI によるデバイス管理	85
4.1	WebUI で使用可能な機能	85
4.2	CLM(WebUI)によるデバイス管理	86
4.2.1	WebUI 初回アクセス時の事前準備、ログイン・接続設定	86
4.2.2	デバイス登録	86
4.2.3	デバイス一括登録	89
4.2.4	デバイス一覧	91
4.2.5	デバイス更新	95
4.2.6	デバイス一括更新	98
4.2.7	デバイス無効化	99

4.2.8	デバイス有効化	102
4.2.9	デバイス削除	104
4.2.10	デバイス鍵情報取得	106

1 EDMS オプションの概要

EDMS オプションは、CLM と、クライアント上で認証情報の管理を行う Agent(SecureWare/Credential Lifecycle Agent(以下、CLA と称します))の機能を拡張し、CLM にデバイスライフサイクル管理機能を追加するオプションです。

本オプションを導入することで、CLM でデバイスの使用開始～デバイスの使用中止というデバイスのライフサイクルを管理することが可能になります。また、CLM は、管理している認証情報(ID・鍵)とデバイスのライフサイクルを連動・管理します。認証情報(ID・鍵)とデバイスのライフサイクルを連動・管理することにより、CLM はデバイスのライフサイクルに基づいた認証認可機能も提供します。



1.1 主な機能

EDMS オプションが提供する機能の概要を以下に記載します。

- デバイス ID 登録機能

CLM にデバイスを登録し、デバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワードを発行する機能。

- デバイス ID 認証機能

デバイスが所有しているデバイス ID・デバイス用パスワードと、CLM に登録されているデバイス ID・デバイス用パスワードが一致するかを照合(認証)する機能。

- デバイス ID 有効化・無効化機能

CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効へ、または無効から有効へ変更する機能。

➤ デバイス ID 削除機能

CLM に登録されているデバイス ID およびデバイスの情報を削除する機能。

➤ デバイス ID 一括登録機能

CLM に複数のデバイスを一括登録し、登録した各デバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワードを発行する機能。

➤ デバイス ID 一括有効化・一括無効化機能

CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効へ、または無効から有効へ一括変更する機能。

➤ デバイス ID 一括削除機能

CLM に登録されているデバイス ID およびデバイスの情報を一括削除する機能。

➤ デバイス ID 情報更新

CLM に登録されているデバイス ID のデバイス情報を更新する機能。

➤ デバイス ID 情報一括更新

CLM に登録されているデバイス ID のデバイス情報を一括更新する機能。

➤ デバイス ID 情報取得

CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報の一覧を取得する機能。

➤ デバイス ID 情報検索

CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報を検索する機能。

➤ デバイス鍵情報取得

CLM に登録されているデバイス ID に紐づく鍵の情報を取得する機能。

2 WebAPI 実行コマンド

EDMS オプションで提供するコマンドは、下表の通りです。

コマンドの詳細は、2.1 章をご覧ください。

項番	コマンド	コマンド名	インストールディレクトリ	説明
1	WebAPI 実行コマンド	[Linux 版] swclmclient [Windows 版] swclmclient.exe	[Linux 版] /opt/nec/pf/swcagent/bin/ [Windows 版] %ProgramFiles%\NEC\swcagent	パラメータを指定することにより、各 WebAPI を実行するコマンド。 なお、本コマンドを実行するために必要な環境変数を含めたコマンドを ID 鍵コマンドとして用意していますので、本コマンドを直接実行する必要はありません。
2	ID 鍵コマンド	[Linux 版] SWCLMCLIENT [Windows 版] SWCLMCLIENT. cmd	[Linux 版] /opt/nec/pf/swcagent/bin/ [Windows 版] %ProgramFiles%\NEC\swcagent	WebAPI 実行コマンドを機能拡張し、CLM の提供機能をより便利に利用可能にするコマンド。

2.1 WebAPI 実行コマンド

WebAPI 実行コマンドは、CLM・CLA が提供する WebAPI を実行するコマンドです。

EDMS オプションをインストールすることにより、WebAPI 実行コマンドからデバイス管理機能の WebAPI を使用することができます。

注意事項

- Linux 版
 - コマンドは、root ユーザもしくは root グループに所属するユーザで実行してください。
 - コマンド実行環境では、事前に以下の環境変数を設定しておく必要があります。環境変数を設定しない場合、コマンド実行時にエラーが発生し、コマンド実行に失敗しますのでご注意ください。
LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/pf/swcagent/lib:\$LD_LIBRARY_PATH
SWSDKV50_LIBPATH=/opt/nec/pf/swcagent/lib
- Windows 版
 - コマンドは、Administrators 権限を保有したユーザで実行してください。

2.2 ID 鍵コマンド

ID 鍵コマンドは、WebAPI 実行コマンド(swclmclient)の呼び出しと環境変数の設定をラップすることでユーザが WebAPI 実行コマンドを使いやすくすることに加え、WebAPI 実行コマンドを機能拡張することでより便利に CLM の提供機能を使用できるようにしたコマンドです。

以下のコマンドをご使用頂くことで WebAPI 実行コマンドを直接実行する必要はありません。

```
[Linux]
/opt/nec/pf/swcagent/bin/SWCLMCLIENT
[Windows]
%ProgramFiles%\NEC\swcagent\SWCLMCLIENT.cmd
```

EDMS オプションをインストールすることにより、ID 鍵コマンドからデバイス管理機能を使用することができます。

前提

- Linux 版
 - コマンドは、root ユーザもしくは root グループに所属するユーザで実行してください。
- Windows 版
 - コマンドは、Administrators 権限を保有したユーザで実行してください。

提供機能

本コマンドで提供している機能は以下の通りです。

- デバイス ID 登録
デバイス ID 登録 API を実行し、CLM にデバイスを登録します。また、登録したデバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワードを発行します。パスワードの複雑さは CLM の設定に従います。
- デバイス ID 無効化
デバイス ID 無効化 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効に変更します。デバイス ID の状態を無効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことはできません。
- デバイス ID 有効化
デバイス ID 有効化 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID の状態を無効から有効に変更します。デバイス ID の状態を有効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことができます。

- デバイス ID 削除
デバイス ID 削除 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID およびデバイス情報を削除します。デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効します。
- デバイス ID 一括登録
デバイス ID 一括登録 API を実行し、CLM にデバイスを一括登録します。また、登録した各デバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワードを発行します。パスワードの複雑さは CLM の設定に従います。
- デバイス ID 一括無効化
デバイス ID 一括無効化 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効に一括変更します。デバイス ID の状態を無効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことはできません。
- デバイス ID 一括有効化
デバイス ID 一括有効化 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID の状態を無効から有効に一括変更します。デバイス ID の状態を有効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことができます。
- デバイス ID 一括削除
デバイス ID 一括削除 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID およびデバイス情報を一括削除します。デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効します。
- デバイス ID 情報更新
デバイス ID 情報更新 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID のデバイス情報を更新します。
- デバイス ID 情報一括更新
デバイス ID 情報一括更新 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID のデバイス情報を一括更新します。
- デバイス ID 情報取得
デバイス ID 情報取得 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報の一覧を取得します。
- デバイス ID 情報検索
デバイス ID 情報検索 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報を検索します。
- デバイス鍵情報取得
デバイス ID 鍵情報取得 API を実行し、CLM に登録されているデバイス ID に紐づく鍵の情報を取得します。

実行形式

実行時に以下のオプション、および、オプション値を指定します。指定できるオプションは、機能によって異なります。

- 本コマンドを利用する上での留意事項

- 事前に ID・パスワード照合コマンド(別紙「コマンドリファレンス」3章 ID・パスワード照合 (SWCLMCLIENT idverify)をご覧ください)を実行し、CLM と ID・パスワードによる認証を行っておく必要があります。
- コマンドで使用しないオプションを指定した場合、そのオプションは無視されます。
例) デバイス ID 登録コマンドで -mode オプションを指定すると、-mode オプションは無視してコマンド実行されます。
- コマンドで使用しない拡張情報を指定した場合、その拡張情報は無視されます。
例) デバイス ID 登録コマンドで -ext-data オプションに certsubject="/CN=A"や desc="ABC"と指定すると、certsubject="/CN=A"と desc="ABC"は無視してコマンド実行されます。
- コマンドのオプション、拡張情報に記号を含む文字列を指定する場合、記号はエスケープ文字によりエスケープした状態で指定する必要があります。エスケープ文字およびエスケープの方法については、Linux 版の場合は使用するシェルの仕様に、Windows 版の場合はコマンドプロンプトの仕様に従います。
- Windows 版のコマンドを実行する際は、必ず拡張子(.cmd)まで指定して実行する必要があります。

● デバイス ID 登録

> SWCLMCLIENT devreg	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
----------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 登録では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
devicename	必須	デバイス名。デバイスを特定可能な名称を指定します。
devnameonly	任意	指定可能な値は、「1」固定です。 本項目を指定した場合、デバイス情報として、devicename に指定したデバイス名のみを CLM へ登録します。 本項目を省略した場合、以下を WebAPI 実行コマンドが収集し、デバイス情報として devicename に指定したデバイス名と収集した情報を CLM へ登録します。 ・ IP アドレス ・ MAC アドレス ・ OS 名

		<ul style="list-style-type: none"> ・ OSバージョン ・ アーキテクチャ ・ CPU 名 ・ メモリサイズ ・ ホスト名 ・ コンピュータ名
--	--	--

実行例

```
# SWCLMCLIENT devreg -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data devicename="iotgate
waytest",devnameonly=1
```

devnameonly について

コマンドの設定ファイルに「devnameonly=1」を追記することで、コマンド実行時の「devnameonly」の既定値を「1(=devicename のみ登録)」とすることが可能です。

ファイルパス	/etc/swcagent/swcagent.conf
書式	「パラメータ名=設定値」の形式で指定します。 「#」で始まる行は、コメント行と扱います。
設定項目	<p>パラメータ「ext-data」に指定します。</p> <p>次のように設定することで、コマンド実行時の既定値が「1(=devicename のみ登録)」になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <pre>ext-data=devnameonly=1,built-in-ca-path=/opt/nec/pf/swcagent/bin/built-in-ca.pem</pre> </div>

● デバイス ID 無効化

>SWCLMCLIENT devinvalidate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
----------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 無効化では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
devicename	必須 ※ 1	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※1: deviceid を指定する場合は、任意です。
deviceid	必須 ※ 2	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※2: devicename を指定する場合は、任意です。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devinvalidate -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data devicename="i  
otgatewaytest"
```

● デバイス ID 有効化

>SWCLMCLIENT devvalidate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
--------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 有効化では、-ext-data に以下の項目を指定することができます

項目	必須/任意	説明
devicename	必須 ※ 1	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時に指定したデバイス名を指定します。 ※1: deviceid を指定する場合は、任意です。
deviceid	必須 ※ 2	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※2: devicename を指定する場合は、任意です。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devinvalidate -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data deviceid="0000000001"
```

● デバイス ID 削除

>SWCLMCLIENT devdelete	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 削除では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
devicename	必須 ※ 1	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※1: deviceid を指定する場合は、任意です。
deviceid	必須 ※ 2	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※2: devicename を指定する場合は、任意です。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devdelete -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data deviceid="000000  
0001"
```

● デバイス ID 一括登録

>SWCLMCLIENT devbatreg	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括登録では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	登録するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、以下を参照します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Linux 版: /tmp/swclm-batch-devreg.csv ・ Windows 版: %TEMP%\swclm-batch-devreg.csv CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 一括登録用ファイル」を参照してください。

```
# SWCLMCLIENT devbatreg -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path="/tmp/regist.csv"
```

デバイス ID 一括登録用ファイル

デバイス ID を一括登録するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))																																								
文字コード	UTF-8																																								
書式	<p>次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。</p> <p>項目値を省略する場合は、空文字で指定します。</p> <p>"デバイス名","デバイスの IP アドレス","デバイスの MAC アドレス","デバイスの製造番号","デバイスの資産番号","OS 名","OS バージョン","アーキテクチャ","CPU 名","メモリーサイズ","ホスト名","コンピュータ名"</p>																																								
設定項目	<p>記述可能な項目は、次の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>必須/任意</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デバイス名</td> <td>必須</td> <td>デバイス名。 最大文字列長は、64byte です。 デバイスを特定可能な名称を指定します。</td> </tr> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>任意</td> <td>デバイスの IP アドレス。</td> </tr> <tr> <td>MAC アドレス</td> <td>任意</td> <td>デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012</td> </tr> <tr> <td>製造番号</td> <td>任意</td> <td>デバイスの製造番号。</td> </tr> <tr> <td>資産番号</td> <td>任意</td> <td>デバイスの資産番号</td> </tr> <tr> <td>OS 名</td> <td>任意</td> <td>デバイスの OS 名。</td> </tr> <tr> <td>OS バージョン</td> <td>任意</td> <td>デバイスの OS のバージョン。</td> </tr> <tr> <td>アーキテクチャ</td> <td>任意</td> <td>デバイスのアーキテクチャ。</td> </tr> <tr> <td>CPU 名</td> <td>任意</td> <td>デバイスの CPU 名。</td> </tr> <tr> <td>メモリーサイズ</td> <td>任意</td> <td>デバイスのメモリーサイズ。</td> </tr> <tr> <td>ホスト名</td> <td>任意</td> <td>デバイスのホスト名。</td> </tr> <tr> <td>コンピュータ名</td> <td>任意</td> <td>デバイスのコンピュータ名。</td> </tr> </tbody> </table>		項目	必須/任意	説明	デバイス名	必須	デバイス名。 最大文字列長は、64byte です。 デバイスを特定可能な名称を指定します。	IP アドレス	任意	デバイスの IP アドレス。	MAC アドレス	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012	製造番号	任意	デバイスの製造番号。	資産番号	任意	デバイスの資産番号	OS 名	任意	デバイスの OS 名。	OS バージョン	任意	デバイスの OS のバージョン。	アーキテクチャ	任意	デバイスのアーキテクチャ。	CPU 名	任意	デバイスの CPU 名。	メモリーサイズ	任意	デバイスのメモリーサイズ。	ホスト名	任意	デバイスのホスト名。	コンピュータ名	任意	デバイスのコンピュータ名。
項目	必須/任意	説明																																							
デバイス名	必須	デバイス名。 最大文字列長は、64byte です。 デバイスを特定可能な名称を指定します。																																							
IP アドレス	任意	デバイスの IP アドレス。																																							
MAC アドレス	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012																																							
製造番号	任意	デバイスの製造番号。																																							
資産番号	任意	デバイスの資産番号																																							
OS 名	任意	デバイスの OS 名。																																							
OS バージョン	任意	デバイスの OS のバージョン。																																							
アーキテクチャ	任意	デバイスのアーキテクチャ。																																							
CPU 名	任意	デバイスの CPU 名。																																							
メモリーサイズ	任意	デバイスのメモリーサイズ。																																							
ホスト名	任意	デバイスのホスト名。																																							
コンピュータ名	任意	デバイスのコンピュータ名。																																							

記述例	"iot-1","192.168.0.1","12:34:56:78:90:12",,,,"Debian","8.6","x86","ARM","51 2MB","iotdevice01","iotdevice01" "iot-2","192.168.0.2","12:34:56:78:90:13",,,,,,,,,,
-----	--

● デバイス ID 一括無効化

>SWCLMCLIENT devbatinvalidate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
-------------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括無効化では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	無効化するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、以下を参照します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Linux 版: /tmp/swclm-batch-devmod.csv ・ Windows 版: %TEMP%\swclm-batch-devmod.csv CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 状態変更用ファイル」を参照してください。

```
# SWCLMCLIENT devbatinvalide -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path
="/tmp/invalide.csv"
```

デバイス ID 状態変更用ファイル

デバイス ID を一括無効化するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))										
文字コード	UTF-8										
フォーマット	<p>次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。</p> <p>デバイス ID かデバイス名のどちらか一方を指定します。</p> <p>両方を指定した場合は、デバイス ID を優先し、デバイス名は無視します。</p> <pre>"デバイス ID","デバイス名"</pre>										
項目	<p>記述可能な項目は、次の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>必須/任意</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デバイス ID</td> <td>必須 ※ 1</td> <td>操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。</td> </tr> <tr> <td>デバイス名</td> <td>必須 ※ 2</td> <td>操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。</td> </tr> </tbody> </table>		項目	必須/任意	説明	デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。	デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。
項目	必須/任意	説明									
デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。									
デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。									
記述例	<pre>"0000000001","" "","iot-02" "0000000003","iot-03"</pre>										

● デバイス ID 一括有効化

>SWCLMCLIENT devbatvalidate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
-----------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括有効化では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	有効化するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、以下を参照します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Linux 版: /tmp/swclm-batch-devmod.csv ・ Windows 版: %TEMP%\swclm-batch-devmod.csv CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 状態変更用ファイル」を参照してください。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devbatvalidate -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path=
"/tmp/validate.csv"
```

デバイス ID 状態変更用ファイル

デバイス ID を一括有効化するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))										
文字コード	UTF-8										
フォーマット	<p>次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。</p> <p>デバイス ID かデバイス名のどちらか一方を指定します。</p> <p>両方を指定した場合は、デバイス ID を優先し、デバイス名は無視します。</p> <pre>"デバイス ID","デバイス名"</pre>										
項目	<p>記述可能な項目は、次の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>必須/任意</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デバイス ID</td> <td>必須 ※ 1</td> <td> <p>操作対象デバイスのデバイス ID。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。</p> <p>※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。</p> </td> </tr> <tr> <td>デバイス名</td> <td>必須 ※ 2</td> <td> <p>操作対象のデバイス名。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。</p> <p>※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		項目	必須/任意	説明	デバイス ID	必須 ※ 1	<p>操作対象デバイスのデバイス ID。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。</p> <p>※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。</p>	デバイス名	必須 ※ 2	<p>操作対象のデバイス名。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。</p> <p>※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。</p>
項目	必須/任意	説明									
デバイス ID	必須 ※ 1	<p>操作対象デバイスのデバイス ID。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。</p> <p>※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。</p>									
デバイス名	必須 ※ 2	<p>操作対象のデバイス名。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。</p> <p>※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。</p>									
記述例	<pre>"0000000001","" ","iot-02" "0000000003","iot-03"</pre>										

● デバイス ID 一括削除

>SWCLMCLIENT devbatdel	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括削除では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	削除するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、以下を参照します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Linux 版: /tmp/swclm-batch-devmod.csv ・ Windows 版: %TEMP%\swclm-batch-devmod.csv CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 一括削除用ファイル」を参照してください。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devbatdel -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path="/tmp/del.csv"
```

デバイス ID 一括削除用ファイル

デバイス ID を一括削除するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))										
文字コード	UTF-8										
フォーマット	<p>次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。</p> <p>デバイス ID かデバイス名のどちらか一方を指定します。</p> <p>両方を指定した場合は、デバイス ID を優先し、デバイス名は無視します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">"デバイス ID","デバイス名"</div>										
項目	<p>記述可能な項目は、次の通りです。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 20%;">必須/任意</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デバイス ID</td> <td>必須 ※ 1</td> <td>操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。</td> </tr> <tr> <td>デバイス名</td> <td>必須 ※ 2</td> <td>操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。</td> </tr> </tbody> </table>		項目	必須/任意	説明	デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。	デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。
項目	必須/任意	説明									
デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。									
デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。									
記述例	<pre>"0000000001","" "" ,"iot-02" "0000000003","iot-03"</pre>										

● デバイス ID 情報更新

>SWCLMCLIENT devupdate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 情報更新では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
devicename	必須	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時に指定したデバイス名を指定します。
serialnum	任意	デバイスの製造番号。
assetnum	任意	デバイスの資産番号
ipaddress	任意	デバイスの IP アドレス。
macaddress	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定する。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12

		123456789012
ext_data.osname	任意	デバイスの OS 名。
ext_data.osversion	任意	デバイスの OS のバージョン。
ext_data.architecture	任意	デバイスのアーキテクチャ。
ext_data.cpuname	任意	デバイスの CPU 名。
ext_data.memorysize	任意	デバイスのメモリサイズ。
ext_data.hostname	任意	デバイスのホスト名。
ext_data.computername	任意	デバイスのコンピュータ名。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devupdate -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data deviceid="00000
00001",ipaddress="192.168.56.23",ext_data.osname=Windows,ext_data.cpuname=Pentium
```

● デバイス ID 一括情報更新

>SWCLMCLIENT devbatupdate	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
---------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 一括情報更新では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	更新するデバイス ID のデバイス情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、以下を参照します。 <ul style="list-style-type: none"> Linux 版: /tmp/swclm-batch-devupdate.csv Windows 版: %TEMP%\swclm-batch-devupdate.csv CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 一括情報更新用ファイル」を参照してください。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devbatupdate -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data batfile-path="/tmp/update.csv"
```

デバイス ID 一括情報更新用ファイル

デバイス ID のデバイス情報を一括更新するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))																
文字コード	UTF-8																
フォーマット	<p>次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。</p> <p>デバイス ID かデバイス名のどちらか一方を指定します。</p> <p>両方を指定した場合は、デバイス ID を優先し、デバイス名は無視します。</p> <p>赤文字下線部は、拡張情報を追加・更新する場合に指定します。</p> <pre>"デバイス ID","デバイス名","IP アドレス","MAC アドレス","製造番号","資産番号","OS 名","OS バージョン","アーキテクチャ","CPU 名","メモリサイズ","ホスト名","コンピュータ名","key1=value1","key2=value2"...<u>"keyN=valueN"</u></pre>																
項目	<p>記述可能な項目は、次の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>必須/任意</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デバイス ID</td> <td>必須 ※ 1</td> <td>操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。</td> </tr> <tr> <td>デバイス名</td> <td>必須 ※ 2</td> <td>操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。</td> </tr> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>任意</td> <td>デバイスの IP アドレス。</td> </tr> <tr> <td>MAC アドレス</td> <td>任意</td> <td>デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012</td> </tr> </tbody> </table>		項目	必須/任意	説明	デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。	デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。	IP アドレス	任意	デバイスの IP アドレス。	MAC アドレス	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012
項目	必須/任意	説明															
デバイス ID	必須 ※ 1	操作対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、任意です。															
デバイス名	必須 ※ 2	操作対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、任意です。															
IP アドレス	任意	デバイスの IP アドレス。															
MAC アドレス	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012															

	製造番号	任意	デバイスの製造番号。
	資産番号	任意	デバイスの資産番号
	OS 名	任意	デバイスの OS 名。
	OS バージョン	任意	デバイスの OS のバージョン。
	アーキテクチャ	任意	デバイスのアーキテクチャ。
	CPU 名	任意	デバイスの CPU 名。
	メモリサイズ	任意	デバイスのメモリサイズ。
	ホスト名	任意	デバイスのホスト名。
	コンピュータ名	任意	デバイスのコンピュータ名。
	keyN=valueN	任意	拡張項目。
記述例	<pre> "", "iot-1", "192.168.0.1", "12:34:56:78:90:12",,,, "Debian", "8.6", "x86", "ARM", " 512MB", "iotdevice01", "iotdevice01" "0000000002",,,, "192.168.0.2", "12:34:56:78:90:13",,,,,,,,, "chiku=Tokyo" </pre>		

● デバイス ID 情報取得

>SWCLMCLIENT devgetlist	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
-------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 情報取得では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
devicename	任意 ※1	取得対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定したデバイス名を指定します。 ※1: deviceid、startid との同時指定はできません。
deviceid	任意 ※2	取得対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※2: devicename、startid との同時指定はできません。
startid	任意 ※3	取得対象デバイス ID の開始番号。 ※3: devicename、deviceid との同時指定はできません。

endid	任意	取得対象デバイス ID の終了番号。 startid を指定する場合、本パラメータまたは recordcount を指定する必要があります。																																		
recordcount	任意	取得するデータ数 (デバイス数)。 startid を指定する場合、本パラメータまたは endid を指定する必要があります。																																		
attr	必須	取得する属性名。 属性名には、以下の項目と、拡張情報の key を指定することが可能です。 全ての属性を取得する場合は、"all"と指定してください。 また、複数項目を指定する場合は、各要素をカンマで区切り、attr の値全体を二重引用符(")で囲みます。 <table border="1" data-bbox="767 826 1431 1783"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>deviceid</td> <td>デバイス ID。</td> </tr> <tr> <td>devicename</td> <td>デバイス名。</td> </tr> <tr> <td>status</td> <td>デバイスの状態</td> </tr> <tr> <td>registration</td> <td>デバイス ID 登録日 (ミリ秒で指定)</td> </tr> <tr> <td>devicekey</td> <td>デバイス ID のパスワード</td> </tr> <tr> <td>ipaddress</td> <td>デバイスの IP アドレス。</td> </tr> <tr> <td>macaddress</td> <td>デバイスの MAC アドレス。</td> </tr> <tr> <td>serialnumber</td> <td>デバイスの製造番号。</td> </tr> <tr> <td>assetnumber</td> <td>デバイスの資産番号</td> </tr> <tr> <td>osname</td> <td>デバイスの OS 名。</td> </tr> <tr> <td>osversion</td> <td>デバイスの OS のバージョン。</td> </tr> <tr> <td>architecture</td> <td>デバイスのアーキテクチャ。</td> </tr> <tr> <td>cpuname</td> <td>デバイスの CPU 名。</td> </tr> <tr> <td>memorysize</td> <td>デバイスのメモリサイズ。</td> </tr> <tr> <td>hostname</td> <td>デバイスのホスト名。</td> </tr> <tr> <td>computername</td> <td>デバイスのコンピュータ名。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明	deviceid	デバイス ID。	devicename	デバイス名。	status	デバイスの状態	registration	デバイス ID 登録日 (ミリ秒で指定)	devicekey	デバイス ID のパスワード	ipaddress	デバイスの IP アドレス。	macaddress	デバイスの MAC アドレス。	serialnumber	デバイスの製造番号。	assetnumber	デバイスの資産番号	osname	デバイスの OS 名。	osversion	デバイスの OS のバージョン。	architecture	デバイスのアーキテクチャ。	cpuname	デバイスの CPU 名。	memorysize	デバイスのメモリサイズ。	hostname	デバイスのホスト名。	computername	デバイスのコンピュータ名。
項目	説明																																			
deviceid	デバイス ID。																																			
devicename	デバイス名。																																			
status	デバイスの状態																																			
registration	デバイス ID 登録日 (ミリ秒で指定)																																			
devicekey	デバイス ID のパスワード																																			
ipaddress	デバイスの IP アドレス。																																			
macaddress	デバイスの MAC アドレス。																																			
serialnumber	デバイスの製造番号。																																			
assetnumber	デバイスの資産番号																																			
osname	デバイスの OS 名。																																			
osversion	デバイスの OS のバージョン。																																			
architecture	デバイスのアーキテクチャ。																																			
cpuname	デバイスの CPU 名。																																			
memorysize	デバイスのメモリサイズ。																																			
hostname	デバイスのホスト名。																																			
computername	デバイスのコンピュータ名。																																			

実行例

```
# SWCLMCLIENT devgetlist -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data startid="0000000001",recordcount="20",attr="all"
```

● デバイス ID 情報検索

>SWCLMCLIENT devsearch	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 情報検索では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
condition	必須	検索条件。 "¥"name: <検索対象項目名>,operator: <演算子>,value: <項目値>¥" の形式で指定します。 複数条件を指定する場合は、次のように条件を%で区切ります。 "¥"name: <検索対象項目名 1>,operator: <演算子 1>,value: <項目値 1>¥"%¥"name: <検索対象項目名 2>,operator: <演算子 2>,value: <項目値 2>¥" 検索対象項目名には、以下の項目と、拡張情報の key を指定することが

可能です。

項目	説明
deviceid	デバイス ID。
devicename	デバイス名。
status	デバイスの状態
registration	デバイス ID 登録日
devicekey	デバイス ID のパスワード
ipaddress	デバイスの IP アドレス。
macaddress	デバイスの MAC アドレス。
serialnumber	デバイスの製造番号。
assetnumber	デバイスの資産番号
osname	デバイスの OS 名。
osversion	デバイスの OS のバージョン。
architecture	デバイスのアーキテクチャ。
cpuname	デバイスの CPU 名。
memorysize	デバイスのメモリサイズ。
hostname	デバイスのホスト名。
computername	デバイスのコンピュータ名。

演算子には、以下を指定することが可能です。

演算子	説明
eq	等しい
ne	等しくない
ge	以上
gt	より大きい
le	以下
lt	より小さい

実行例

```
# SWCLMCLIENT devsearch -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data condition="¥"name:osname,operator:eq,value:Linux¥"%¥"name:osversion,operator:ne,value:6.8¥""
```

● デバイス ID 鍵情報取得

>SWCLMCLIENT devgetkeylist	-host <hostname> [-port <port >] [-p-host <hostname >] [-p-port <port >] [-timeout <timeout>] -ext-data <extension data>
----------------------------	---

オプション	必須/任意	説明
-host	必須	CLM のホスト名または IP アドレスを指定します。
-port	必須	CLM の待ち受けポート番号を指定します。既定値は「8443」です。
-p-host	任意	プロキシサーバの IP アドレスを指定します。
-p-port	任意	プロキシサーバのポート番号を指定します。
-timeout	任意	タイムアウト時間を指定します。単位は秒です。既定値は 60 秒です。指定可能な値は 1~0x7FFFFFFF です。
-ext-data	必須	拡張情報を指定します。 key=value の形式で指定してください。 value は、クォートで囲む必要があります。また、複数指定する場合はカンマで区切る必要があります。 指定する拡張情報は、後述の「拡張情報」を参照してください。

拡張情報

デバイス ID 鍵情報取得では、-ext-data に以下の項目を指定することができます。

項目	必須/任意	説明
batfile-path	任意	鍵情報を取得するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでの絶対パスを指定します。本項目省略時は、以下を参照します。 <ul style="list-style-type: none"> Linux 版: /tmp/swclm-batch-devget.csv Windows 版: %TEMP%\swclm-batch-devget.csv CSV ファイルのフォーマットは、後述「デバイス ID 鍵情報取得用ファイル」を参照してください。

実行例

```
# SWCLMCLIENT devgetkeylist -host "192.168.0.1" -port "8443" -ext-data csvfile-path="/tmp/devkeynumlist.csv"
```

デバイス ID 鍵情報取得用ファイル

デバイス ID に紐づく鍵情報を取得するには、デバイス情報を記載したファイルが必要です。次のフォーマットで作成します。

ファイル形式	CVS (区切り文字: カンマ(,))													
文字コード	UTF-8													
フォーマット	<p>次の項目を 1 行 1 デバイスで記載します。</p> <p>デバイス ID かデバイス名のどちらか一方を指定します。</p> <p>両方を指定した場合は、デバイス ID を優先し、デバイス名は無視します。</p> <pre>"デバイス ID","デバイス名","鍵種別"</pre>													
項目	<p>記述可能な項目は、次の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>必須/任意</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デバイス ID</td> <td>必須 ※ 1</td> <td> <p>取得対象デバイスのデバイス ID。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。</p> <p>※ 1: デバイス名を指定する場合は、指定できません。</p> </td> </tr> <tr> <td>デバイス名</td> <td>必須 ※ 2</td> <td> <p>取得対象のデバイス名。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。</p> <p>※ 2: デバイス ID を指定する場合は、指定できません。</p> </td> </tr> <tr> <td>鍵種別</td> <td>必須</td> <td> <p>取得対象の鍵の種類。</p> <p>以下のいずれかを指定します。</p> <p>all: 全て</p> <p>cert: 証明書 (CA 証明書は除く)</p> <p>commonkey: 共通鍵</p> </td> </tr> </tbody> </table>		項目	必須/任意	説明	デバイス ID	必須 ※ 1	<p>取得対象デバイスのデバイス ID。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。</p> <p>※ 1: デバイス名を指定する場合は、指定できません。</p>	デバイス名	必須 ※ 2	<p>取得対象のデバイス名。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。</p> <p>※ 2: デバイス ID を指定する場合は、指定できません。</p>	鍵種別	必須	<p>取得対象の鍵の種類。</p> <p>以下のいずれかを指定します。</p> <p>all: 全て</p> <p>cert: 証明書 (CA 証明書は除く)</p> <p>commonkey: 共通鍵</p>
項目	必須/任意	説明												
デバイス ID	必須 ※ 1	<p>取得対象デバイスのデバイス ID。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。</p> <p>※ 1: デバイス名を指定する場合は、指定できません。</p>												
デバイス名	必須 ※ 2	<p>取得対象のデバイス名。</p> <p>デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。</p> <p>※ 2: デバイス ID を指定する場合は、指定できません。</p>												
鍵種別	必須	<p>取得対象の鍵の種類。</p> <p>以下のいずれかを指定します。</p> <p>all: 全て</p> <p>cert: 証明書 (CA 証明書は除く)</p> <p>commonkey: 共通鍵</p>												
記述例	<pre>"0000000001","","all" ","iot-02","cert" "0000000003","iot-03","commonkey"</pre>													

実行結果

実行結果は、WebAPI 実行コマンドの終了コードと CLM からのレスポンスで確認します。

詳細は、別紙「コマンドリファレンス」の「2.ID 鍵コマンドの基本機能」-「実行結果」をご覧ください。

ログ出力

WebAPI 実行コマンドが出力するログについては、詳細は、別紙「コマンドリファレンス」の「2. ID 鍵コマンドの基本機能」-「ログ出力」をご覧ください。

3 WebAPI

EDMS オプションで提供する WebAPI について説明します。

3.1 WebAPI 一覧

EDMS オプションをインストールすることにより、利用可能となる WebAPI を以下に示します。

表内のライセンスキー認証と ID・パスワード認証については、別紙「WebAPI リファレンス」をご覧ください。

表 3-1 WebAPI 一覧

	API 名	メソッド	URI	説明	認証方式	
					ライセンスキー認証	ID・パスワード認証
デバイスの登録	デバイス ID 登録	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス情報を登録し、デバイス ID とデバイス用パスワードを発行する。	○	○
デバイスの認証	デバイス ID 認証	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID とデバイス用パスワードで認証する。	○	○
デバイスの更新	デバイス ID 無効化	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID を無効化する。	○	○
	デバイス ID 有効化	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID を有効化する。	○	○
	デバイス ID 情報更新	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID の情報を更新する。	○	○
デバイスの使用中止	デバイス ID 削除	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID を削除する。 デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効する。	○	○
一括処理	デバイス ID 一括登録	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス情報を一括登録し、デバイス ID とデバイス用パスワードを一括で払い出す。	○	○
	デバイス ID 一括無効化	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID の状態を一括で無効化する。	○	○
	デバイス ID 一括有効化	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID の状態を一括で有効化する。	○	○
	デバイス ID 一括削除	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID を一括削除する。 デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効する。	○	○
	デバイス ID 一括情報更新	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID の情報を一括で更新する。	○	○
情報参照	デバイス ID 情報取得	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID の情報を取得する。	○	○
	デバイス ID 情報検索	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID の情報を検索・取得する。	○	○
	デバイス ID 鍵情報取得	POST	/SWCLM/DeviceInfo	デバイス ID に紐づく鍵の情報情報を検索・	○	○

				取得する。		
--	--	--	--	-------	--	--

3.2 デバイス管理 API

本章では、EDMS オプションで提供するデバイス管理 API について説明します。

3.2.1 デバイス ID 登録 API

CLM にデバイスを登録します。また、登録したデバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワードを発行します。

パスワードの複雑さは CLM の設定に従います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「register」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。
keyfilepath	必須	パスワード保存ファイルパス CLM の管理情報として使用します。 「/tmp/key」を指定してください。
devicename	必須	デバイス名。 最大文字列長は、256byte です。 デバイスを特定可能な名称(デバイス名)を指定してください。
ipaddress	任意	デバイスの IP アドレス。
macaddress	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定してください。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012

ext_data	任意	<p>付加情報。</p> <p>項目名と項目値を配列で指定してください。</p> <p>項目名の最大文字列長は、128byte です。また項目値の最大文字列長は、256byte です。</p> <p>既定で指定可能な付加情報は、次の通りです。</p> <p>また、以下以外に、任意の付加情報も指定可能です。</p> <table border="1" data-bbox="823 488 1402 918"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>osname</td> <td>OS 名</td> </tr> <tr> <td>osversion</td> <td>OS バージョン</td> </tr> <tr> <td>architecture</td> <td>アーキテクチャ</td> </tr> <tr> <td>cpuname</td> <td>CPU 名</td> </tr> <tr> <td>memorysize</td> <td>メモリサイズ</td> </tr> <tr> <td>hostname</td> <td>ホスト名</td> </tr> <tr> <td>computername</td> <td>コンピュータ名</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	説明	osname	OS 名	osversion	OS バージョン	architecture	アーキテクチャ	cpuname	CPU 名	memorysize	メモリサイズ	hostname	ホスト名	computername	コンピュータ名
項目名	説明																	
osname	OS 名																	
osversion	OS バージョン																	
architecture	アーキテクチャ																	
cpuname	CPU 名																	
memorysize	メモリサイズ																	
hostname	ホスト名																	
computername	コンピュータ名																	

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-2 デバイス ID 登録 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "register",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "devicename": "nec-edge-0001",
  "keyfilepath": "/tmp/key",
  "ipaddress": "192.168.0.1",
  "macaddress": "aa:aa:aa:aa:aa:aa",
  "ext_data": {"osname": "CentOS", "osversion": "6.8", "memorysize": "2048MB"}
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
201 Created	登録成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	発行エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceid	生成したデバイス ID。
devicekey	生成したデバイス用パスワード。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-3 デバイス ID 登録 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceid": "0000000001",
  "devicekey": "ANBgkqhk"
}
```

3.2.2 デバイス ID 認証 API

デバイスが所有しているデバイス ID・デバイス用パスワードと、CLM に登録されているデバイス ID・デバイス用パスワードが一致するかを照合(認証)します。

リクエスト URL

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

メソッド

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「auth」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。
deviceid	必須	デバイス ID。 デバイス ID 登録 API またはデバイス ID 一括登録 API で発行したデバイス ID を指定します。
devicekey	任意	デバイス用パスワード。 デバイス ID 登録 API またはデバイス ID 一括登録 API で発行したデバイス用パスワードを指定します。

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-4 デバイス ID 認証 API リクエストパラメータ(例)

```
{  
  "mode": "auth",  
  "keyid": "0000000001",  
  "key": "cGFzc3dv",  
  "deviceid": "1234567890abcdefghijklmnopqrstuvwxxyz",  
  "devicekey": "ANBgkqhk"  
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	認証成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	照合失敗
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-5 デバイス ID 認証 API レスポンスパラメータ(例)

<pre>{ "errorcode": 0 }</pre>

3.2.3 デバイス ID 無効化 API

CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効に変更します。デバイス ID の状態を無効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことはできません。

リクエスト URL

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

メソッド

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchinvalidate」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	無効化するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table border="1"><thead><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></tbody></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-6 デバイス ID 無効化 API リクエストパラメータ(例・デバイス ID を指定)

```
{
  "mode": "batchinvalidate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{"deviceid": "0000000001"}]
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	無効化成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	無効化したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。レスポンスパラメータ errorcode と同じ値を格納。
deviceid	無効化したデバイスのデバイス ID。
devicename	無効化したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-7 デバイス ID 無効化 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{"errorcode":0,"deviceid":"0000000001", "devicename":"nec-edge-0001"}]
}
```

3.2.4 デバイス ID 有効化 API

CLM に登録されているデバイス ID の状態を無効から有効に変更します。デバイス ID の状態を有効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことができます。

リクエスト URL

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

メソッド

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchvalidate」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	無効化するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table border="1"><thead><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></tbody></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-8 デバイス ID 有効化 API リクエストパラメータ(例・デバイス名を指定)

```
{
  "mode": "batchvalidate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{"devicename": "nec-edge-0001"}]
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	有効化成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	有効化したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。レスポンスパラメータ errorcode と同じ値を格納。
deviceid	有効化したデバイスのデバイス ID。
devicename	有効化したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-9 デバイス ID 有効化 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{"errorcode":0,"deviceid":"0000000001", "devicename":"nec-edge-0001"}]
}
```

3.2.5 デバイス ID 削除 API

CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報を削除します。

デバイス ID に紐づく電子証明書は、失効します。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchdelete」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	削除するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table border="1"><thead><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></tbody></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-10 デバイス ID 削除 API リクエストパラメータ(例・デバイス名を指定)

```
{
  "mode": "batchdelete",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{"devicename": "nec-edge-0001"}]
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	削除成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	削除したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。レスポンスパラメータ errorcode と同じ値を格納。
deviceid	削除したデバイスのデバイス ID。
devicename	削除したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-11 デバイス ID 削除 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{"errorcode":0,"deviceid":"0000000001", "devicename":"nec-edge-0001"}]
}
```

3.2.6 デバイス ID 一括登録 API

CLM にデバイスを一括登録します。また、登録した各デバイスに対して論理的でユニークな ID(デバイス ID)と、デバイス用のパスワードを発行します。

パスワードの複雑さは CLM の設定に従います。

なお、デバイス一括登録中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの登録処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「batchregister」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。

deviceinfo	必須	<p>登録するデバイスの情報。</p> <p>以下の項目を、配列で指定します。</p> <table border="1" data-bbox="539 253 1412 1816"> <thead> <tr> <th data-bbox="539 253 735 322">パラメータ</th> <th data-bbox="735 253 890 322">必須/任意</th> <th data-bbox="890 253 1412 322">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="539 322 735 533">devicename</td> <td data-bbox="735 322 890 533">必須</td> <td data-bbox="890 322 1412 533"> デバイス名。 最大文字列長は、256byte です。 デバイスを特定可能な名称を指定します。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 533 735 600">ipaddress</td> <td data-bbox="735 533 890 600">任意</td> <td data-bbox="890 533 1412 600">デバイスの IP アドレス。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 600 735 862">macaddress</td> <td data-bbox="735 600 890 862">任意</td> <td data-bbox="890 600 1412 862"> デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 862 735 1816">ext_data</td> <td data-bbox="735 862 890 1816">任意</td> <td data-bbox="890 862 1412 1816"> 付加情報。 項目名と項目値を配列で指定して下さい。 項目名の最大文字列長は、128byte です。 項目値の最大文字列長は、256byte です。 既定で指定可能な付加情報は、次の通りです。 また、以下以外に、任意の付加情報も指定可能です。 <table border="1" data-bbox="906 1352 1359 1787"> <thead> <tr> <th data-bbox="906 1352 1129 1408">項目名</th> <th data-bbox="1129 1352 1359 1408">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="906 1408 1129 1464">osname</td> <td data-bbox="1129 1408 1359 1464">OS 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1464 1129 1520">osversion</td> <td data-bbox="1129 1464 1359 1520">OS バージョン</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1520 1129 1576">architecture</td> <td data-bbox="1129 1520 1359 1576">アーキテクチャ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1576 1129 1632">cpuname</td> <td data-bbox="1129 1576 1359 1632">CPU 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1632 1129 1688">memorysize</td> <td data-bbox="1129 1632 1359 1688">メモリサイズ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1688 1129 1744">hostname</td> <td data-bbox="1129 1688 1359 1744">ホスト名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1744 1129 1800">computername</td> <td data-bbox="1129 1744 1359 1800">コンピュータ名</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	パラメータ	必須/任意	説明	devicename	必須	デバイス名。 最大文字列長は、256byte です。 デバイスを特定可能な名称を指定します。	ipaddress	任意	デバイスの IP アドレス。	macaddress	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012	ext_data	任意	付加情報。 項目名と項目値を配列で指定して下さい。 項目名の最大文字列長は、128byte です。 項目値の最大文字列長は、256byte です。 既定で指定可能な付加情報は、次の通りです。 また、以下以外に、任意の付加情報も指定可能です。 <table border="1" data-bbox="906 1352 1359 1787"> <thead> <tr> <th data-bbox="906 1352 1129 1408">項目名</th> <th data-bbox="1129 1352 1359 1408">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="906 1408 1129 1464">osname</td> <td data-bbox="1129 1408 1359 1464">OS 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1464 1129 1520">osversion</td> <td data-bbox="1129 1464 1359 1520">OS バージョン</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1520 1129 1576">architecture</td> <td data-bbox="1129 1520 1359 1576">アーキテクチャ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1576 1129 1632">cpuname</td> <td data-bbox="1129 1576 1359 1632">CPU 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1632 1129 1688">memorysize</td> <td data-bbox="1129 1632 1359 1688">メモリサイズ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1688 1129 1744">hostname</td> <td data-bbox="1129 1688 1359 1744">ホスト名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1744 1129 1800">computername</td> <td data-bbox="1129 1744 1359 1800">コンピュータ名</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	説明	osname	OS 名	osversion	OS バージョン	architecture	アーキテクチャ	cpuname	CPU 名	memorysize	メモリサイズ	hostname	ホスト名	computername	コンピュータ名
パラメータ	必須/任意	説明																															
devicename	必須	デバイス名。 最大文字列長は、256byte です。 デバイスを特定可能な名称を指定します。																															
ipaddress	任意	デバイスの IP アドレス。																															
macaddress	任意	デバイスの MAC アドレス。 以下のいずれかの形式で指定します。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012																															
ext_data	任意	付加情報。 項目名と項目値を配列で指定して下さい。 項目名の最大文字列長は、128byte です。 項目値の最大文字列長は、256byte です。 既定で指定可能な付加情報は、次の通りです。 また、以下以外に、任意の付加情報も指定可能です。 <table border="1" data-bbox="906 1352 1359 1787"> <thead> <tr> <th data-bbox="906 1352 1129 1408">項目名</th> <th data-bbox="1129 1352 1359 1408">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="906 1408 1129 1464">osname</td> <td data-bbox="1129 1408 1359 1464">OS 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1464 1129 1520">osversion</td> <td data-bbox="1129 1464 1359 1520">OS バージョン</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1520 1129 1576">architecture</td> <td data-bbox="1129 1520 1359 1576">アーキテクチャ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1576 1129 1632">cpuname</td> <td data-bbox="1129 1576 1359 1632">CPU 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1632 1129 1688">memorysize</td> <td data-bbox="1129 1632 1359 1688">メモリサイズ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1688 1129 1744">hostname</td> <td data-bbox="1129 1688 1359 1744">ホスト名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1744 1129 1800">computername</td> <td data-bbox="1129 1744 1359 1800">コンピュータ名</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	説明	osname	OS 名	osversion	OS バージョン	architecture	アーキテクチャ	cpuname	CPU 名	memorysize	メモリサイズ	hostname	ホスト名	computername	コンピュータ名															
項目名	説明																																
osname	OS 名																																
osversion	OS バージョン																																
architecture	アーキテクチャ																																
cpuname	CPU 名																																
memorysize	メモリサイズ																																
hostname	ホスト名																																
computername	コンピュータ名																																

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-12 デバイス ID 一括登録 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchregister",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{
    "devicename": "nec-edge-0001",
    "ipaddress": "192.168.0.1",
    "macaddress": "aa:aa:aa:aa:aa:aa",
    "ext_data": {"osname": "CentOS", "osversion": "6.8", "memorysize": "2048MB"}
  }, {
    "devicename": "nec-edge-0002",
    "ipaddress": "192.168.0.2",
    "macaddress": "aa:aa:aa:aa:aa:ab",
    "ext_data": {"osname": "CentOS", "osversion": "6.8", "memorysize": "2048MB"}
  }
]
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
201 Created	登録成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。

	エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	登録したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。
deviceid	生成したデバイス ID。
devicename	登録したデバイスのデバイス名。
devicekey	生成したデバイス用パスワード。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-13 デバイス ID 一括登録 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{
    "errorcode": 0, "deviceid": "0000000001", "devicename": "nec-edge-0001"
  }, {
    "errorcode": 0, "deviceid": "0000000002", "devicename": "nec-edge-0002"
  }]
}
```

3.2.7 デバイス ID 一括無効化 API

CLM に登録されているデバイス ID の状態を有効から無効に一括変更します。デバイス ID の状態を無効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことはできません。

なお、デバイス一括無効化中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの無効化処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchinvalidate」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	無効化するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table border="1"><thead><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></tbody></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-14 デバイス ID 一括無効化 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchinvalidate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{
    "deviceid": "0000000001"
  }],
  "devicename": "nec-edge-0002"
}
```

```
}

```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	無効化成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。 エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	無効化したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納します。
errorcode	エラーコード。
deviceid	無効化したデバイスのデバイス ID。
devicename	無効化したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-15 デバイス ID 一括無効化 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{
    "errorcode": 0, "deviceid": "0000000001", "devicename": "nec-edge-0001"
  }, {
    "errorcode": 0, "deviceid": "0000000002", "devicename": "nec-edge-0002"
  }
]
```

3.2.8 デバイス ID 一括有効化 API

CLM に登録されているデバイス ID の状態を無効から有効に一括変更します。デバイス ID の状態を有効にすると、デバイスから電子証明書・共通鍵管理やデバイス ID 認証を行うことができます。

なお、デバイス一括有効化中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの有効化処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchvalidate」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	有効化するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table border="1" data-bbox="802 1350 1362 1514"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>deviceid</td> <td>デバイス ID</td> </tr> <tr> <td>devicename</td> <td>デバイス名</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-16 デバイス ID 一括有効化 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchvalidate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{
    "devicename": "nec-edge-0001"
  }]
}
```

```

    },{
      "devicename":"nec-edge-0002"
    }
  ]
}

```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	有効化成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。 エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	有効化したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納します。
errorcode	エラーコード。
deviceid	有効化したデバイスのデバイス ID。
devicename	有効化したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-17 デバイス ID 一括有効化 API レスポンスパラメータ(例)

```

{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo":[{
    "errorcode":0,"deviceid":"0000000001", "devicename":"nec-edge-0001"
  }],{

```

```
    "errorCode":0,"deviceid":"0000000002", "devicename":"nec-edge-0002"  
  }  
}
```

3.2.9 デバイス ID 一括削除 API

CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報を一括削除します。デバイス ID に紐づく電子証明書は、失効します。

なお、デバイス ID 一括削除中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの削除処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明						
mode	必須	実行モード。 「batchdelete」を指定してください。						
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。						
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。						
deviceinfo	必須	削除するデバイスの情報。 以下のいずれかの項目を配列の形式で指定してください。 <table border="1"><thead><tr><th>項目名</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>deviceid</td><td>デバイス ID</td></tr><tr><td>devicename</td><td>デバイス名</td></tr></tbody></table>	項目名	説明	deviceid	デバイス ID	devicename	デバイス名
項目名	説明							
deviceid	デバイス ID							
devicename	デバイス名							

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-18 デバイス ID 一括削除 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchdelete",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{
    "devicename": "nec-edge-0001"
  }],
}
```

```

    "devicename":"nec-edge-0002"
  }]
}

```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	削除成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー デバイスの状態不正
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。 エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	削除したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納します。
errorcode	エラーコード。
deviceid	削除したデバイスのデバイス ID。
devicename	削除したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-19 デバイス ID 一括削除 API レスポンスパラメータ(例)

```

{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{
    "errorcode": 0, "deviceid": "0000000001", "devicename": "nec-edge-0001"
  }, {
    "errorcode": 0, "deviceid": "0000000002", "devicename": "nec-edge-0002"
  }
]
}

```

```
}]  
}
```

3.2.10 デバイス ID 情報更新 API

CLM に登録されているデバイス ID のデバイス情報を更新します。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「batchupdate」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。

deviceinfo	必須	<p>更新するデバイスの情報。</p> <p>deviceid または devicename と、更新したい項目を配列で指定します。</p> <table border="1" data-bbox="647 309 1425 680"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>deviceid</td> <td>更新対象デバイスのデバイス ID。</td> </tr> <tr> <td>devicename</td> <td>更新対象デバイスのデバイス名。</td> </tr> <tr> <td>ipaddress</td> <td>デバイスの IP アドレス。</td> </tr> <tr> <td>macaddress</td> <td>デバイスの MAC アドレス。</td> </tr> <tr> <td>serialnumber</td> <td>デバイスの製造番号。</td> </tr> <tr> <td>assetnumber</td> <td>デバイスの資産番号</td> </tr> </tbody> </table> <p>ext-data</p> <p>付加情報。</p> <p>項目名と項目値を配列で指定してください。項目名の最大文字列長は、128byte です。また項目値の最大文字列長は、256byte です。既定で指定可能な付加情報は、次の通りです。また、以下以外に、任意の付加情報も指定可能です。</p> <table border="1" data-bbox="863 1079 1377 1512"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>osname</td> <td>OS 名</td> </tr> <tr> <td>osversion</td> <td>OS バージョン</td> </tr> <tr> <td>architecture</td> <td>アーキテクチャ</td> </tr> <tr> <td>cpuname</td> <td>CPU 名</td> </tr> <tr> <td>memorysize</td> <td>メモリサイズ</td> </tr> <tr> <td>hostname</td> <td>ホスト名</td> </tr> <tr> <td>computername</td> <td>コンピュータ名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明	deviceid	更新対象デバイスのデバイス ID。	devicename	更新対象デバイスのデバイス名。	ipaddress	デバイスの IP アドレス。	macaddress	デバイスの MAC アドレス。	serialnumber	デバイスの製造番号。	assetnumber	デバイスの資産番号	項目名	説明	osname	OS 名	osversion	OS バージョン	architecture	アーキテクチャ	cpuname	CPU 名	memorysize	メモリサイズ	hostname	ホスト名	computername	コンピュータ名
項目	説明																															
deviceid	更新対象デバイスのデバイス ID。																															
devicename	更新対象デバイスのデバイス名。																															
ipaddress	デバイスの IP アドレス。																															
macaddress	デバイスの MAC アドレス。																															
serialnumber	デバイスの製造番号。																															
assetnumber	デバイスの資産番号																															
項目名	説明																															
osname	OS 名																															
osversion	OS バージョン																															
architecture	アーキテクチャ																															
cpuname	CPU 名																															
memorysize	メモリサイズ																															
hostname	ホスト名																															
computername	コンピュータ名																															

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-20 デバイス ID 情報更新 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "batchupdate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [{"devicename": "nec-edge-0001","ipaddress": "192.168.0.100"}]
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	更新成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	更新したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納する。
errorcode	エラーコード。レスポンスパラメータ errorcode と同じ値を格納。
deviceid	更新したデバイスのデバイス ID。
devicename	更新したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-21 デバイス ID 情報更新 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{"errorcode":0,"deviceid":"0000000001", "devicename":"nec-edge-0001"}]
}
```

3.2.11 デバイス ID 一括情報更新 API

CLM に登録されているデバイス ID のデバイス情報を一括更新します。

なお、デバイス ID 一括情報更新中にエラーが発生した場合は、当該デバイスに関する処理をスキップし、次のデバイスの更新処理を行います。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「batchupdate」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。

deviceinfo	必須	<p>更新するデバイスの情報。</p> <p>deviceid または devicename と、更新したい項目を配列で指定します。</p> <table border="1" data-bbox="651 309 1425 678"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>deviceid</td> <td>更新対象デバイスのデバイス ID。</td> </tr> <tr> <td>devicename</td> <td>更新対象デバイスのデバイス名。</td> </tr> <tr> <td>ipaddress</td> <td>デバイスの IP アドレス。</td> </tr> <tr> <td>macaddress</td> <td>デバイスの MAC アドレス。</td> </tr> <tr> <td>serialnumber</td> <td>デバイスの製造番号。</td> </tr> <tr> <td>assetnumber</td> <td>デバイスの資産番号</td> </tr> </tbody> </table> <p>ext-data</p> <p>付加情報。</p> <p>項目名と項目値を配列で指定してください。 項目名の最大文字列長は、128byte です。また項目値の最大文字列長は、256byte です。 既定で指定可能な付加情報は、次の通りです。 また、以下以外に、任意の付加情報も指定可能です。</p> <table border="1" data-bbox="866 1081 1377 1512"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>osname</td> <td>OS 名</td> </tr> <tr> <td>osversion</td> <td>OS バージョン</td> </tr> <tr> <td>architecture</td> <td>アーキテクチャ</td> </tr> <tr> <td>cpuname</td> <td>CPU 名</td> </tr> <tr> <td>memorysize</td> <td>メモリサイズ</td> </tr> <tr> <td>hostname</td> <td>ホスト名</td> </tr> <tr> <td>computername</td> <td>コンピュータ名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明	deviceid	更新対象デバイスのデバイス ID。	devicename	更新対象デバイスのデバイス名。	ipaddress	デバイスの IP アドレス。	macaddress	デバイスの MAC アドレス。	serialnumber	デバイスの製造番号。	assetnumber	デバイスの資産番号	項目名	説明	osname	OS 名	osversion	OS バージョン	architecture	アーキテクチャ	cpuname	CPU 名	memorysize	メモリサイズ	hostname	ホスト名	computername	コンピュータ名
項目	説明																															
deviceid	更新対象デバイスのデバイス ID。																															
devicename	更新対象デバイスのデバイス名。																															
ipaddress	デバイスの IP アドレス。																															
macaddress	デバイスの MAC アドレス。																															
serialnumber	デバイスの製造番号。																															
assetnumber	デバイスの資産番号																															
項目名	説明																															
osname	OS 名																															
osversion	OS バージョン																															
architecture	アーキテクチャ																															
cpuname	CPU 名																															
memorysize	メモリサイズ																															
hostname	ホスト名																															
computername	コンピュータ名																															

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-22 デバイス ID 情報更新一括 API リクエストパラメータ(例)

```

{
  "mode": "batchupdate",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [
    {

```

```

    "devicename": "nec-edge-0001",
    "ipaddress": "192.168.0.1",
    "macaddress": "12:34:56:78:90:12",
    "ext_data": {
      "osname": "Debian",
      "osversion": "8.6",
      "cpuname": "ARM",
      "memorysize": "512MB",
      "hostname": "nec-edge-0001",
      "computername": "nec-edge-0001"
    }
  },
  {
    "deviceid": "0000000002",
    "ipaddress": "192.168.0.2",
    "macaddress": "12:34:56:78:90:13",
    "ext_data": {
      "computername": "COMP1"
    }
  }
}
]]

```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	更新成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。

	<p>詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。</p> <p>エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。</p>
deviceinfo	更新したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納します。
errorcode	エラーコード。
deviceid	更新したデバイスのデバイス ID。
devicename	更新したデバイスのデバイス名。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-23 デバイス ID 一括情報更新 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{
    "errorcode": 0, "deviceid": "0000000001", "devicename": "nec-edge-0001"
  }, {
    "errorcode": 0, "deviceid": "0000000002", "devicename": "nec-edge-0002"
  }
]
```

3.2.12 デバイス ID 情報取得 API

CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報を取得します。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「getlist」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。
deviceid	任意 ※1	取得対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行した デバイス ID を指定します。 ※1: devicename、startid との同時指定はできません。
devicename	任意 ※2	取得対象デバイスのデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録時で指定し たデバイス名を指定します。 ※2: deviceid、startid との同時指定はできません。
startid	任意 ※3	取得対象デバイス ID の開始番号。 ※3: devicename、deviceid との同時指定はできません。
endid	任意	取得対象デバイス ID の終了番号。 startid を指定する場合、本パラメータまたは recordcount を指定する必要があります。
recordcount	任意	取得するデータ数 (デバイス数)。 startid を指定する場合、本パラメータまたは endid を指 定する必要があります。

attr	必須	<p>取得する属性名。配列で指定します。</p> <p>属性名には、以下の項目と、拡張情報の key を指定することが可能です。</p> <p>全ての属性を取得する場合は、"all"と指定してください。</p> <table border="1" data-bbox="774 414 1436 1317"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>deviceid</td> <td>デバイス ID。</td> </tr> <tr> <td>devicename</td> <td>デバイス名。</td> </tr> <tr> <td>status</td> <td>デバイスの状態</td> </tr> <tr> <td>registration</td> <td>デバイス ID 登録日</td> </tr> <tr> <td>devicekey</td> <td>デバイス ID のパスワード</td> </tr> <tr> <td>ipaddress</td> <td>デバイスの IP アドレス。</td> </tr> <tr> <td>macaddress</td> <td>デバイスの MAC アドレス。</td> </tr> <tr> <td>serialnumber</td> <td>デバイスの製造番号。</td> </tr> <tr> <td>assetnumber</td> <td>デバイスの資産番号</td> </tr> <tr> <td>osname</td> <td>デバイスの OS 名。</td> </tr> <tr> <td>osversion</td> <td>デバイスの OS のバージョン。</td> </tr> <tr> <td>architecture</td> <td>デバイスのアーキテクチャ。</td> </tr> <tr> <td>cpuname</td> <td>デバイスの CPU 名。</td> </tr> <tr> <td>memorysize</td> <td>デバイスのメモリサイズ。</td> </tr> <tr> <td>hostname</td> <td>デバイスのホスト名。</td> </tr> <tr> <td>computername</td> <td>デバイスのコンピュータ名。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明	deviceid	デバイス ID。	devicename	デバイス名。	status	デバイスの状態	registration	デバイス ID 登録日	devicekey	デバイス ID のパスワード	ipaddress	デバイスの IP アドレス。	macaddress	デバイスの MAC アドレス。	serialnumber	デバイスの製造番号。	assetnumber	デバイスの資産番号	osname	デバイスの OS 名。	osversion	デバイスの OS のバージョン。	architecture	デバイスのアーキテクチャ。	cpuname	デバイスの CPU 名。	memorysize	デバイスのメモリサイズ。	hostname	デバイスのホスト名。	computername	デバイスのコンピュータ名。
項目	説明																																			
deviceid	デバイス ID。																																			
devicename	デバイス名。																																			
status	デバイスの状態																																			
registration	デバイス ID 登録日																																			
devicekey	デバイス ID のパスワード																																			
ipaddress	デバイスの IP アドレス。																																			
macaddress	デバイスの MAC アドレス。																																			
serialnumber	デバイスの製造番号。																																			
assetnumber	デバイスの資産番号																																			
osname	デバイスの OS 名。																																			
osversion	デバイスの OS のバージョン。																																			
architecture	デバイスのアーキテクチャ。																																			
cpuname	デバイスの CPU 名。																																			
memorysize	デバイスのメモリサイズ。																																			
hostname	デバイスのホスト名。																																			
computername	デバイスのコンピュータ名。																																			

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-24 デバイス ID 情報取得 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "getlist",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "startid": "0000000001",
  "recordcount": "3",
  "attr": [
    "deviceid",
```

```

    "status"
  ]
}

```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	取得成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。 エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	取得したデバイスの情報。リクエストパラメータ attr で指定した項目を配列に格納する。
nextid	CLM の設定「maxResponseRecord」の制限により、指定された全てのデータが返却されなかった場合、次のデータとなるデバイス ID を格納する。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-25 デバイス ID 情報取得 API レスポンスパラメータ(例)

```

{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{
    "deviceid": "0000000001", "status": "Valid"
  }, {
    "deviceid": "0000000002", "status": "Valid"
  }, {

```

```
"deviceid":"0000000003","status":"Deleted"
```

```
}]
```

```
}
```

3.2.13 デバイス ID 情報検索 API

CLM に登録されているデバイス ID とデバイス情報を検索します。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明																														
mode	必須	実行モード。 「search」を指定してください。																														
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。																														
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。																														
condition	必須	<p>検索条件。</p> <p>以下を配列で指定します。複数の条件を指定した場合は、AND 条件として検索します。</p> <table border="1" data-bbox="700 1115 1362 1332"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>name</td> <td>検索対象の項目名</td> </tr> <tr> <td>value</td> <td>検索対象の項目値</td> </tr> <tr> <td>operator</td> <td>演算子</td> </tr> </tbody> </table> <p>項目名には、以下の項目を指定することが可能です。</p> <table border="1" data-bbox="700 1485 1396 2069"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>deviceid</td> <td>デバイス ID。</td> </tr> <tr> <td>devicename</td> <td>デバイス名。</td> </tr> <tr> <td>status</td> <td>デバイスの状態</td> </tr> <tr> <td>registration</td> <td>デバイス ID 登録日(ミリ秒で指定)</td> </tr> <tr> <td>devicekey</td> <td>デバイス ID のパスワード</td> </tr> <tr> <td>ipaddress</td> <td>デバイスの IP アドレス。</td> </tr> <tr> <td>macaddress</td> <td>デバイスの MAC アドレス。</td> </tr> <tr> <td>serialnumber</td> <td>デバイスの製造番号。</td> </tr> <tr> <td>assetnumber</td> <td>デバイスの資産番号</td> </tr> <tr> <td>osname</td> <td>デバイスの OS 名。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明	name	検索対象の項目名	value	検索対象の項目値	operator	演算子	項目	説明	deviceid	デバイス ID。	devicename	デバイス名。	status	デバイスの状態	registration	デバイス ID 登録日(ミリ秒で指定)	devicekey	デバイス ID のパスワード	ipaddress	デバイスの IP アドレス。	macaddress	デバイスの MAC アドレス。	serialnumber	デバイスの製造番号。	assetnumber	デバイスの資産番号	osname	デバイスの OS 名。
項目	説明																															
name	検索対象の項目名																															
value	検索対象の項目値																															
operator	演算子																															
項目	説明																															
deviceid	デバイス ID。																															
devicename	デバイス名。																															
status	デバイスの状態																															
registration	デバイス ID 登録日(ミリ秒で指定)																															
devicekey	デバイス ID のパスワード																															
ipaddress	デバイスの IP アドレス。																															
macaddress	デバイスの MAC アドレス。																															
serialnumber	デバイスの製造番号。																															
assetnumber	デバイスの資産番号																															
osname	デバイスの OS 名。																															

		osversion	デバイスの OS のバージョン。														
		architecture	デバイスのアーキテクチャ。														
		cpuname	デバイスの CPU 名。														
		memorysize	デバイスのメモリサイズ。														
		hostname	デバイスのホスト名。														
		computername	デバイスのコンピュータ名。														
<p>演算子には、以下を指定することが可能です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>演算子</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>=</td> <td>等しい</td> </tr> <tr> <td><></td> <td>等しくない</td> </tr> <tr> <td>>=</td> <td>以上</td> </tr> <tr> <td>></td> <td>より大きい</td> </tr> <tr> <td><=</td> <td>以下</td> </tr> <tr> <td><</td> <td>より小さい</td> </tr> </tbody> </table>				演算子	説明	=	等しい	<>	等しくない	>=	以上	>	より大きい	<=	以下	<	より小さい
演算子	説明																
=	等しい																
<>	等しくない																
>=	以上																
>	より大きい																
<=	以下																
<	より小さい																

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-26 デバイス ID 情報検索 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "search",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "condition": [{"name": "osname", "operator": "=", "value": "Linux"},
                {"name": "osversion", "operator": "<>", "value": "6.8"}]}
}
```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	取得成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	取得したデバイスの情報。以下の項目を配列に格納します。 osname、hostname、ipaddress、macaddress は、デバイス情報に該当項目が設定されていない場合、省略されます。
deviceid	取得したデバイスのデバイス ID。
devicename	取得したデバイスのデバイス名。
status	取得したデバイスのステータス。
osname	取得したデバイスの OS 名。
hostname	取得したデバイスのホスト名。
ipaddress	取得したデバイスの IP アドレス。
macaddress	取得したデバイスの MAC アドレス。
nextid	CLM の設定「maxResponseRecord」の制限により、指定された全てのデータが返却されなかった場合、次のデータとなるデバイス ID を格納する。

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-27 デバイス ID 情報検索 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [{
    "deviceid": "0000000001", "devicename": "nec-edge-0001", "ipaddress": "192.168.0.1",
    "macaddress": "00:00:00:64:f8:9d", "status": "Valid"
  }, {
    "deviceid": "0000000002", "devicename": "nec-edge-0002", "ipaddress": "192.168.0.2",
    "macaddress": "00:00:00:64:f8:10", "status": "Valid"
  }
]
```

3.2.14 デバイス ID 鍵情報取得 API

CLM に登録されているデバイス ID に紐づく鍵の情報を検索・取得します。

リクエスト URL

メソッド

https://<サーバ名>/SWCLM/DeviceInfo

POST

リクエストパラメータ

パラメータ	必須/任意	説明
mode	必須	実行モード。 「getkeylist」を指定してください。
keyid	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID。
key	必須	ID・パスワード発行 API で発行した ID のパスワード。
deviceinfo	必須	鍵情報を取得するデバイスの情報。次の情報を、配列で指定します。

項目	必須/任意	説明
デバイス ID	必須 ※ 1	取得対象デバイスのデバイス ID。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で発行したデバイス ID を指定します。 ※ 1: デバイス名を指定する場合は、指定できません。
デバイス名	必須 ※ 2	取得対象のデバイス名。 デバイス ID 登録またはデバイス ID 一括登録で指定したデバイス名を指定します。 ※ 2: デバイス ID を指定する場合は、指定できません。
鍵種別	必須	取得対象の鍵の種類。 以下のいずれかを指定します。 all: 全て cert: 証明書 (CA 証明書は除く) commonkey: 共通鍵
エイリアス名	任意	取得対象のエイリアス名(共通鍵の場合のみ)。 本項目を省略した場合、デバイスに紐づく全ての共通鍵情報が取得されます。

リクエストパラメータの例を以下に示します。

表 3-28 デバイス ID 鍵情報取得 API リクエストパラメータ(例)

```
{
  "mode": "getkeylist",
  "keyid": "0000000001",
  "key": "cGFzc3dv",
  "deviceinfo": [
    {
      "deviceid": "0000000001",
      "keytype": "all"
    },
    {
      "devicename": "0000000002",
      "keytype": "cert"
    }
  ]
}
```

```

    "deviceid": "0000000003",
    "keytype": "commonkey",
    "alias": "commonkey001"
  }
}]

```

レスポンスコード

レスポンスコード	説明
200 OK	取得成功
400 Bad Request	リクエスト情報不正
403 Forbidden	認証エラー
404 Not Found	認証エラー
500 Internal Server Error	内部エラー

レスポンスパラメータ

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。
deviceinfo	取得したデバイスの情報。リクエストパラメータ attr で指定した項目を配列に格納する。
nextid	CLM の設定「maxResponseRecord」の制限により、指定された全てのデータが返却されなかった場合、次のデータとなるデバイス ID を格納する。

パラメータ	説明
errorcode	エラーコード。 詳細は、別紙「WebAPI リファレンス」の「付録. エラーコード一覧」を参照してください。 エラーが複数発生した場合は、最後に発生したエラーのエラーコードを格納します。
deviceinfo	取得した鍵情報。以下の項目を配列に格納します。
errorcode	エラーコード。

deviceid	鍵情報取得対象デバイスのデバイス ID。																								
devicename	鍵情報取得対象デバイスのデバイス名。																								
keyinfo	<p>取得した鍵情報。 次の項目を配列に格納します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>keynumber</td> <td>鍵番号</td> </tr> <tr> <td>keytype</td> <td>鍵種別。 cert: 証明書 commonkey: 共通鍵</td> </tr> <tr> <td>issuetime</td> <td>発行日時 (ミリ秒)</td> </tr> <tr> <td>registration</td> <td>登録日時 (ミリ秒)</td> </tr> <tr> <td>expiration</td> <td>有効期限 (ミリ秒)</td> </tr> <tr> <td>expstatus</td> <td>有効期限。 keyCheckTerm については、別紙「利用の手引き」を参照。 Expire: 有効期限切れ Soon: 有効期限まで keyCheckTerm 以内 Valid: 有効期限まで keyCheckTerm より大きい</td> </tr> <tr> <td>status</td> <td>ステータス。 Valid: 有効 Updated: 鍵更新済み</td> </tr> <tr> <td>keyalias</td> <td>エイリアス名 (共通鍵の場合のみ)</td> </tr> <tr> <td>subject</td> <td>サブジェクト (証明書の場合のみ)</td> </tr> <tr> <td>keyid</td> <td>対象デバイスと鍵番号に紐づいている ID</td> </tr> <tr> <td>filepath</td> <td>対象の鍵の保存ファイルパス</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明	keynumber	鍵番号	keytype	鍵種別。 cert: 証明書 commonkey: 共通鍵	issuetime	発行日時 (ミリ秒)	registration	登録日時 (ミリ秒)	expiration	有効期限 (ミリ秒)	expstatus	有効期限。 keyCheckTerm については、別紙「利用の手引き」を参照。 Expire: 有効期限切れ Soon: 有効期限まで keyCheckTerm 以内 Valid: 有効期限まで keyCheckTerm より大きい	status	ステータス。 Valid: 有効 Updated: 鍵更新済み	keyalias	エイリアス名 (共通鍵の場合のみ)	subject	サブジェクト (証明書の場合のみ)	keyid	対象デバイスと鍵番号に紐づいている ID	filepath	対象の鍵の保存ファイルパス
項目	説明																								
keynumber	鍵番号																								
keytype	鍵種別。 cert: 証明書 commonkey: 共通鍵																								
issuetime	発行日時 (ミリ秒)																								
registration	登録日時 (ミリ秒)																								
expiration	有効期限 (ミリ秒)																								
expstatus	有効期限。 keyCheckTerm については、別紙「利用の手引き」を参照。 Expire: 有効期限切れ Soon: 有効期限まで keyCheckTerm 以内 Valid: 有効期限まで keyCheckTerm より大きい																								
status	ステータス。 Valid: 有効 Updated: 鍵更新済み																								
keyalias	エイリアス名 (共通鍵の場合のみ)																								
subject	サブジェクト (証明書の場合のみ)																								
keyid	対象デバイスと鍵番号に紐づいている ID																								
filepath	対象の鍵の保存ファイルパス																								

レスポンスパラメータの例を以下に示します。

表 3-29 デバイス ID 鍵情報取得 API レスポンスパラメータ(例)

```
{
  "errorcode": 0,
  "deviceinfo": [
    {
      "errorcode": 0, "deviceid": "0000000001", "devicename": "nec-edge-0001",
      "keyinfo": [
        {
          "keynumber": 1, "keytype": "commonkey", "registration": "1505971297610",
```

```

        "expiration":"1515971297610", "expstatus":"Valid", "status":"Valid",
        "keyalias":"devicekey01"},
        {"keynumber":2, "keytype":"cert", "registration":"1505971297610",
        "expiration":"1505971397610", "expstatus":"Soon", "status":"Valid",
        "subject":"CN=device01/O=NEC/C=JP"
    }
}],
{"errorcode": 0, "deviceid":"0000000002", "devicename":"nec-edge-0002",
"keyinfo":[
    {"keynumber":3, "keytype":" cert ", "registration":"1505971297610",
    "expiration":"1515971297610", "expstatus":"Valid", "status":"Valid",
    "subject":"CN=device02/O=NEC/C=JP"},
    {"keynumber":4, "keytype":"cert", "registration":"1505971297610",
    "expiration":"1505971397610", "expstatus":"Expired", "status":"Valid",
    "subject":"CN=testuser02/O=NEC/C=JP"}
]},
{"errorcode": 0, "deviceid":"0000010000", "devicename":"nec-edge-0003",
"keyinfo":[
    {"keynumber":5, "keytype":"commonkey", "registration":"1505971297610",
    "expiration":"1515971297610", "expstatus":"Soon", "status":"Updated",
    "keyalias":"devicekey03"},
    {"keynumber":6, "keytype":"commonkey", "registration":"1505971297610",
    "expiration":"1505971397610", "expstatus":"Valid", "status":"Valid",
    "keyalias":"common03"}
]}
]
}

```

4 WebUI によるデバイス管理

EDMS オプションで提供する機能は、一部を除き CLM 付属の WebUI や CLA 付属の簡易 WebUI から使用することも可能です。

本章では、各 WebUI での操作方法について説明します。

4.1 WebUI で使用可能な機能

CLM(WebUI)、CLA(簡易 WebUI)で使用可能な機能は、次の通りです。

各機能の詳細については、2 章および 3 章をご覧ください。

表 4-1 WebUI 機能一覧

画面名	説明	対応コマンド・WebAPI	提供 WebUI	
			CLM	CLA
デバイス登録	デバイス情報を登録し、デバイス ID とデバイス用パスワードを発行する。	2.2 章 デバイス登録 3.2.1 章 デバイス ID 登録 API	○	○
デバイス一括登録	デバイス情報を一括登録し、デバイス ID とデバイス用パスワードを一括で払い出す。	2.2 章 デバイス一括登録 3.2.6 章 デバイス ID 一括登録 API	○	
デバイス一覧	デバイスの情報を取得する。	2.2 章 デバイス ID 情報取得 3.2.12 章 デバイス ID 情報取得 API	○	
デバイス更新	デバイスの情報を更新する。	2.2 章 デバイス ID 情報更新 3.2.10 章 デバイス ID 情報更新 API	○	
デバイス一括情報更新	デバイスの情報を一括で更新する。	2.2 章 デバイス ID 一括情報更新 3.2.11 章 デバイス ID 一括情報更新 API	○	
デバイス無効化	デバイス ID を無効化する。	2.2 章 デバイス ID 無効化 3.2.3 章 デバイス ID 無効化 API	○	
デバイス有効化	デバイス ID を有効化する。	2.2 章 デバイス ID 有効化 3.2.4 章 デバイス ID 有効化 API	○	
デバイス削除	デバイス ID を削除する。 デバイス ID に紐づいた電子証明書は失効する。	2.2 章 デバイス ID 削除 3.2.5 章 デバイス ID 削除 API	○	
デバイス鍵情報取得	デバイスに紐づく鍵の情報情報を検索・取得する。	2.2 章 デバイス ID 鍵情報取得 3.2.14 章 デバイス ID 鍵情報取得 API	○	

4.2 CLM(WebUI)によるデバイス管理

CLM 付属の WebUI から EDMS オプションの機能を実行する場合の操作手順について説明します。

4.2.1 WebUI 初回アクセス時の事前準備、ログイン・接続設定

WebUI へアクセスする端末・ブラウザに、設定を行います。設定は、初回アクセス前に行います。また、設定を行った端末・ブラウザと異なる端末・ブラウザで簡易 WebUI へアクセスする場合は、新たに当該端末で設定を行う必要があります。

詳細は、別紙「利用の手引き」の 5.3.1 章、5.3.2 章、5.3.3 章をご覧ください。

4.2.2 デバイス登録

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」 - 「デバイス登録」をクリックします。



3. 「デバイス登録」画面が表示されます。必要事項を入力し、「デバイス登録」ボタンをクリックします

SecureWare/CLM クラウド メニュー ログアウト

クラウド接続設定

ID・パスワード

ID・鍵状態取得

デバイス管理

- デバイス登録
- デバイス一括登録
- デバイス一覧
- デバイス更新
- デバイス一括更新
- デバイス無効化
- デバイス有効化
- デバイス削除
- デバイス鍵情報取得

AWS 証明書自動登録

鍵/証明書管理

デバイス登録

SecureWare/CLMにデバイスを登録します。

デバイス名	<input type="text" value="iotdevice01"/>	デバイス名
IPアドレス	<input type="text" value="ipaddress"/>	デバイスのIPアドレス
MACアドレス	<input type="text" value="macaddress"/>	デバイスのMACアドレス
製造番号	<input type="text" value="serialnumber"/>	デバイスの製造番号
資産番号	<input type="text" value="assetnumber"/>	デバイスの資産番号
OS	<input type="text" value="osname"/>	デバイスのOS名
OSバージョン	<input type="text" value="osversion"/>	デバイスのOSバージョン
アーキテクチャ	<input type="text" value="architecture"/>	デバイスのアーキテクチャ
CPU名	<input type="text" value="cpuname"/>	デバイスのCPU名
メモリーサイズ	<input type="text" value="memorysize"/>	デバイスのメモリーサイズ
ホスト名	<input type="text" value="hostname"/>	デバイスのホスト名
コンピュータ名	<input type="text" value="computername"/>	デバイスのコンピュータ名

表 4-2 デバイス登録 入力項目

項目	説明
デバイス名	どの機器(デバイス・エッジ・サーバなど)に発行するかをCLMが管理・判別するために指定します。 最大文字列長は、64byteです。 使用可能文字種は、英数記号(但し、「;」「 」「&」「`」「(」「)」「\$」「<」「>」「*」「?」「{」「}」「[」「]」「!」を除く)です。
IPアドレス	デバイスのIPアドレス。
MACアドレス	デバイスのMACアドレス。 以下のいずれかの形式で指定してください。 12:34:56:78:90:12 12-34-56-78-90-12 123456789012
製造番号	デバイスの製造番号。
資産番号	デバイスの資産番号。
OS	デバイスのOS名。
OSバージョン	デバイスのOSのバージョン。
アーキテクチャ	デバイスのアーキテクチャ。
CPU名	デバイスのCPU名。

メモリーサイズ	デバイスのメモリーサイズ。
ホスト名	デバイスのホスト名。
コンピュータ名	デバイスのコンピュータ名。

4. 登録に成功すると、登録したデバイスに対して発行したデバイス ID と、デバイス用のパスワードを表示します。

SecureWare/CLM クラウド メニュー

ログアウト

クラウド接続設定

ID・パスワード

ID・鍵状態取得

デバイス管理

デバイス登録

デバイス一括登録

デバイス一覧

デバイス更新

デバイス一括更新

デバイス無効化

デバイス有効化

デバイス削除

デバイス鍵情報取得

AWS 証明書自動登録

鍵/証明書管理

デバイス登録

SecureWare/CLMにデバイスを登録します。

デバイス名	iotdevice01	デバイス名
IPアドレス	ipaddress	デバイスのIPアドレス
MACアドレス	macaddress	デバイスのMACアドレス
製造番号	serialnumber	デバイスの製造番号
資産番号	assetnumber	デバイスの資産番号
OS	osname	デバイスのOS名
OSバージョン	osversion	デバイスのOSバージョン
アーキテクチャ	architecture	デバイスのアーキテクチャ
CPU名	cpuname	デバイスのCPU名
メモリーサイズ	memorysize	デバイスのメモリーサイズ
ホスト名	hostname	デバイスのホスト名
コンピュータ名	computername	デバイスのコンピュータ名

デバイス登録

デバイスID	0000000005
デバイスキー	Fhk47el9

デバイス情報の登録が完了しました。

表 4-3 デバイス登録 登録結果

項目	説明
デバイス ID	デバイスのデバイス ID。
デバイスキー	デバイス用パスワード。

4.2.3 デバイス一括登録

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」 - 「デバイス一括登録」をクリックします。



3. 「デバイス一括登録」画面が表示されます。必要事項を入力し、「デバイス登録」ボタンをクリックします

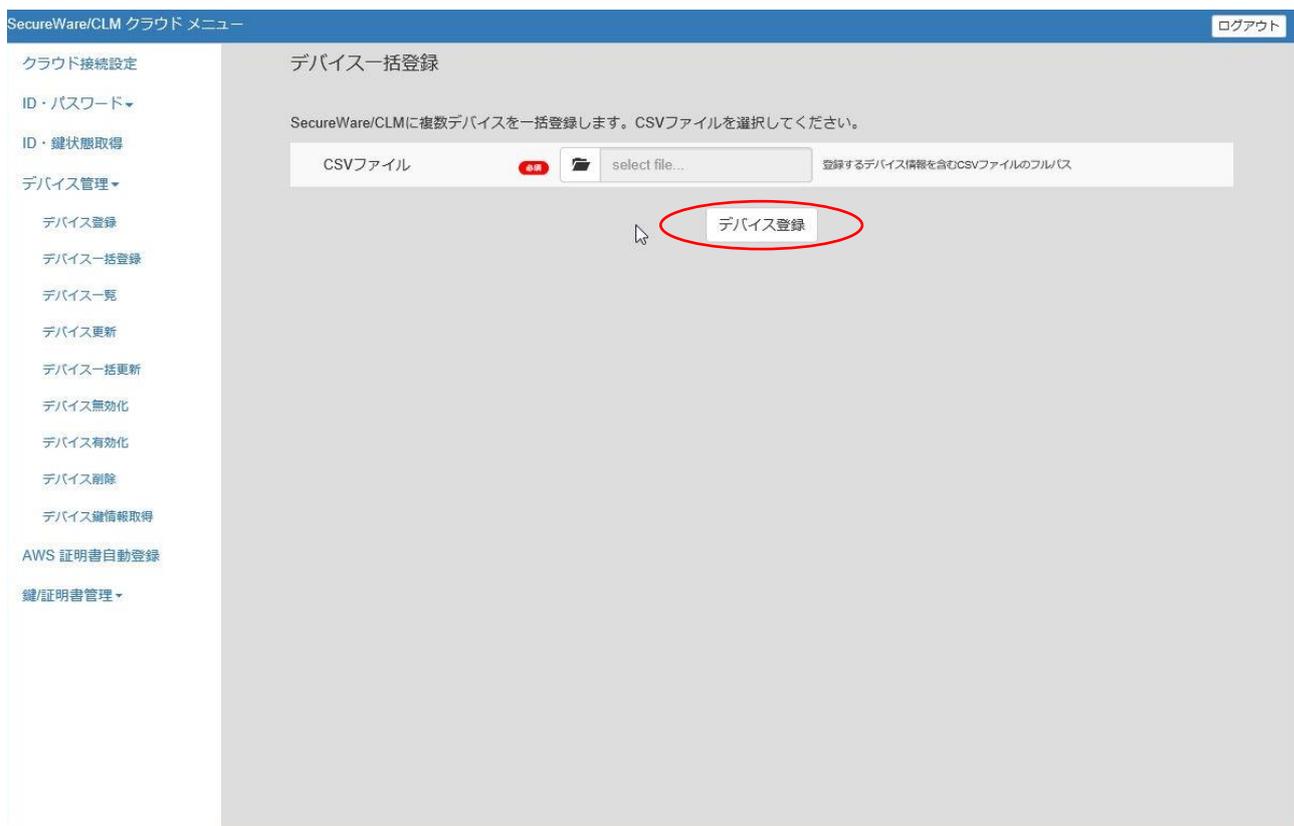


表 4-4 デバイス登録 入力項目

項目	説明
CSV ファイル	<p>登録するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでのパス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストフィールド左部のフォルダボタンをクリックすると、ファイルチューザダイアログが表示されます。ダイアログから、CSV ファイルを選択することが可能です。 ・指定する CSV ファイルのフォーマットについては、2.2 章「デバイス ID 一括登録」-「デバイス ID 一括登録用ファイル」をご覧ください。

4. 登録結果を表示します。

4.2.4 デバイス一覧

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」 - 「デバイス一覧」をクリックします。



3. 「デバイス一覧」画面が表示されます。検索条件と表示項目を指定して「一覧表示」ボタンをクリックします

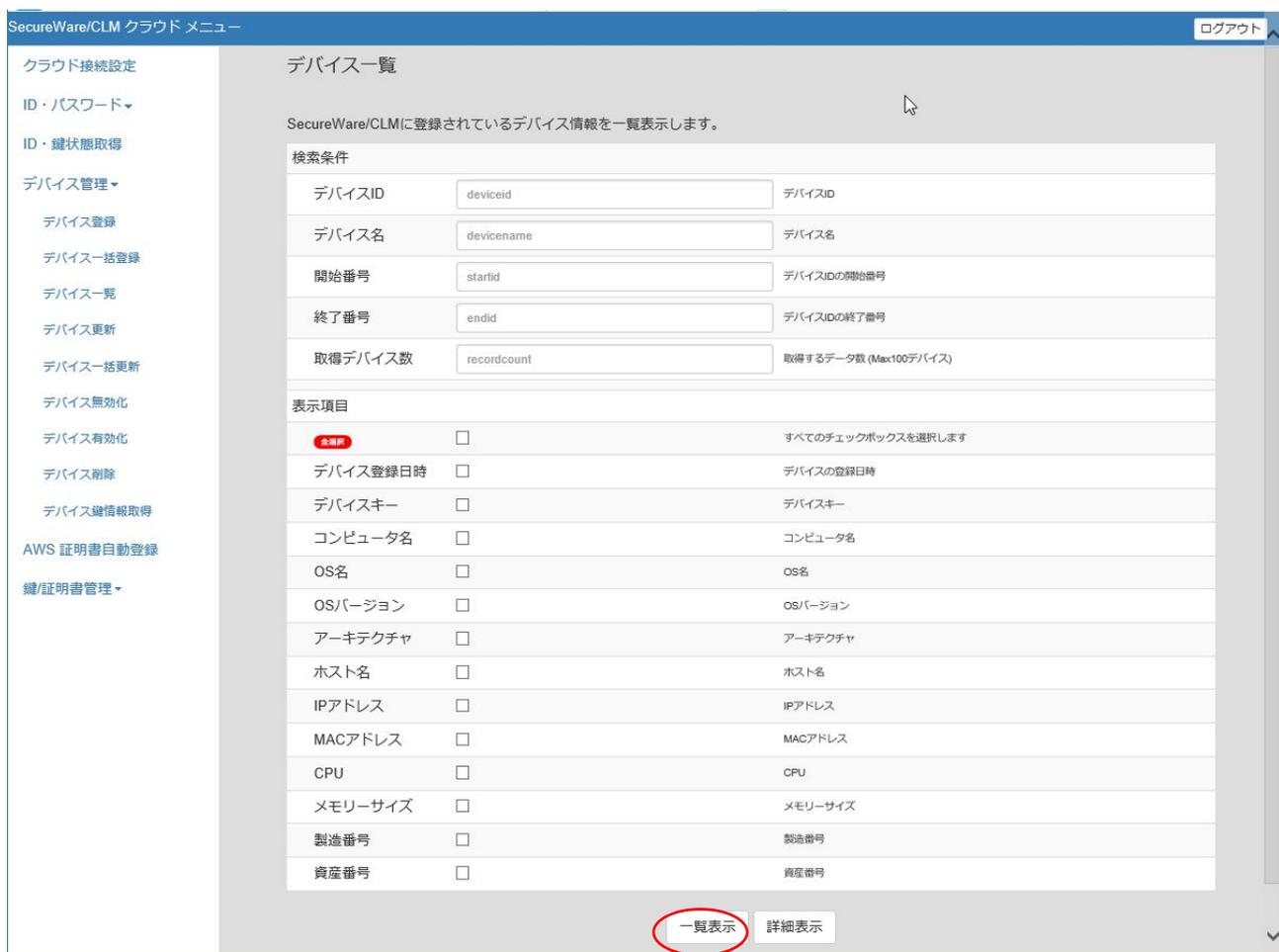


表 4-5 デバイス一覧 入力項目

項目	説明
検索項目	デバイスの検索条件を指定します。 指定しない場合、CLM に登録されている全デバイスを検索します。
デバイス ID	取得対象デバイス ID。 本項目を指定すると、指定した ID と完全一致する ID を保有したデバイスを検索します。
デバイス名	検索対象デバイス名。 本項目を指定すると、指定したデバイス名と完全一致するデバイス名を保有したデバイスを検索します。
開始番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、開始番号を指定します。 本項目は、デバイス ID、デバイス名との同時指定はできません。 本項目を指定する場合、終了番号または取得デバイス数を指定する必要があります。

終了番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、終了番号を指定します。
取得デバイス数	最大取得件数を指定します。
表示項目	<p>検索結果として表示したい項目を指定します。</p> <p>未指定の場合、検索結果として以下を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デバイス ID ・デバイスの状態 ・デバイス名

4. 検索結果を表示します。

The screenshot shows the 'SecureWare/CLM クラウド メニュー' interface. On the left is a navigation menu with options like 'クラウド接続設定', 'ID・パスワード', 'ID・鍵状態取得', and 'デバイス管理'. The main area contains search filters: '開始番号' (starfid), '終了番号' (endid), and '取得デバイス数' (recordcount). Below these is a '表示項目' (Display Items) table with checkboxes for various attributes like 'デバイス登録日時', 'デバイスキー', 'コンピュータ名', etc. At the bottom, a table displays search results with columns for 'デバイスID', '状態', and 'デバイス名'. Three results are shown, all with 'Valid' status. Below the table are pagination controls and buttons for '一覧表示' and '詳細表示'.

表示項目	選択	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 全選択	<input type="checkbox"/>	すべてのチェックボックスを選択します
デバイス登録日時	<input type="checkbox"/>	デバイスの登録日時
デバイスキー	<input type="checkbox"/>	デバイスキー
コンピュータ名	<input type="checkbox"/>	コンピュータ名
OS名	<input type="checkbox"/>	OS名
OSバージョン	<input type="checkbox"/>	OSバージョン
アーキテクチャ	<input type="checkbox"/>	アーキテクチャ
ホスト名	<input type="checkbox"/>	ホスト名
IPアドレス	<input type="checkbox"/>	IPアドレス
MACアドレス	<input type="checkbox"/>	MACアドレス
CPU	<input type="checkbox"/>	CPU
メモリーサイズ	<input type="checkbox"/>	メモリーサイズ
製造番号	<input type="checkbox"/>	製造番号
資産番号	<input type="checkbox"/>	資産番号

デバイスID	状態	デバイス名
<input type="radio"/> 0000000001	Valid	win10-iot
<input type="radio"/> 0000000002	Valid	clmserver
<input type="radio"/> 0000000003	Valid	iotdevice01

5. 検索したデバイスの詳細を確認したい場合は、検索結果上のデバイスを選択し、「詳細表示」ボタンをクリックします。

	デバイスID	状態	デバイス名
<input type="radio"/>	0000000001	Valid	win10-iot
<input type="radio"/>	0000000002	Valid	clmserver
<input checked="" type="radio"/>	0000000003	Valid	iotdevice01

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

一覧表示 詳細表示

6. 選択したデバイスの詳細情報を表示します。

デバイス詳細情報

選択したデバイスの詳細情報を表示します。

デバイス名	win10-iot	デバイス名
IPアドレス	192.168.122.243	デバイスのIPアドレス
MACアドレス	52-54-00-3f-51-23	デバイスのMACアドレス
製造番号	serialnumber	デバイスの製造番号
資産番号	assetnumber	デバイスの資産番号
OS名	Windows	デバイスのOS名
OSバージョン	Windows 10 Enterprise	デバイスのOSバージョン
アーキテクチャ	x86	デバイスのアーキテクチャ
CPU名	Common KVM processor	デバイスのCPU名
メモリーサイズ	3669608 kB	デバイスのメモリーサイズ
ホスト名	win10ent-iot	デバイスのホスト名
コンピュータ名	WIN10ENT-IOT	デバイスのコンピュータ名

戻る

表 4-6 デバイス一覧 検索結果

項目	説明
デバイス名	デバイス名。
IP アドレス	デバイスの IP アドレス。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
製造番号	デバイスの製造番号。
資産番号	デバイスの資産番号。
OS	デバイスの OS 名。
OS バージョン	デバイスの OS のバージョン。
アーキテクチャ	デバイスのアーキテクチャ。
CPU 名	デバイスの CPU 名。

メモリーサイズ	デバイスのメモリーサイズ。
ホスト名	デバイスのホスト名。
コンピュータ名	デバイスのコンピュータ名。

「戻る」ボタンをクリックすると、デバイス一覧表示画面に戻ります。

4.2.5 デバイス更新

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」 - 「デバイス更新」をクリックします。



1. 「デバイス更新」画面が表示されます。
デバイスの検索条件を入力し、「一覧表示」ボタンをクリックします。
条件を指定しない場合、CLM に登録されている全デバイスを検索します。

デバイス更新

SecureWare/CLMに登録されているデバイスを更新します。

検索条件

デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max100デバイス)

表 4-7 デバイス更新 入力項目

項目	説明
デバイス ID 開始番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、開始番号を指定します。
デバイス ID 終了番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、終了番号を指定します。
取得デバイス数	最大取得件数を指定します。

3. ボタンをクリックすると、CLM に登録されているデバイスの一覧が表示されます。

デバイス更新

SecureWare/CLMに登録されているデバイスを更新します。

検索条件

デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max100デバイス)

デバイスID	状態	デバイス名
0000000001	Valid	win10-iot
0000000002	Valid	clmserver
0000000003	Valid	iotdevice01

表 4-8 デバイス更新 一覧表示

項目	説明
デバイス ID	デバイスのデバイス ID。

状態	デバイスの状態。
デバイス名	デバイスのデバイス名。

4. 更新対象のデバイスをを選択し、「情報編集」ボタンをクリックします。



5. 選択したデバイスの詳細情報を表示します。

デバイス名以外の情報を更新することが可能です。情報を更新し、「更新」ボタンをクリックします。

デバイス詳細情報

選択したデバイスの詳細情報を表示します。

デバイス名	<input type="text" value="ioldevice01"/>	デバイス名
IPアドレス	<input type="text" value="ipaddress"/>	デバイスのIPアドレス
MACアドレス	<input type="text" value="macaddress"/>	デバイスのMACアドレス
製造番号	<input type="text" value="serialnumber"/>	デバイスの製造番号
資産番号	<input type="text" value="assetnumber"/>	デバイスの資産番号
OS	<input type="text" value="osname"/>	デバイスのOS名
OSバージョン	<input type="text" value="osversion"/>	デバイスのOSバージョン
アーキテクチャ	<input type="text" value="architecture"/>	デバイスのアーキテクチャ
CPU名	<input type="text" value="cpuname"/>	デバイスのCPU名
メモリーサイズ	<input type="text" value="memorysize"/>	デバイスのメモリーサイズ
ホスト名	<input type="text" value="hostname"/>	デバイスのホスト名
コンピュータ名	<input type="text" value="computename"/>	デバイスのコンピュータ名

表 4-9 デバイス詳細情報 入力項目

項目	説明
IP アドレス	デバイスの IP アドレス。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
製造番号	デバイスの製造番号。
資産番号	デバイスの資産番号。
OS	デバイスの OS 名。

OSバージョン	デバイスのOSのバージョン。
アーキテクチャ	デバイスのアーキテクチャ。
CPU名	デバイスのCPU名。
メモリーサイズ	デバイスのメモリーサイズ。
ホスト名	デバイスのホスト名。
コンピュータ名	デバイスのコンピュータ名。

6. 更新に成功すると、メッセージが表示されます。

メッセージ確認後、「戻る」ボタンをクリックし、デバイス一覧表示画面に戻ります。



4.2.6 デバイス一括更新

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」 - 「デバイス一括更新」をクリックします。



3. 「デバイス一括更新」画面が表示されます。必要事項を入力し、「デバイス更新」ボタンをクリックします



表 4-10 デバイス登録 入力項目

項目	説明
CSV ファイル	<p>更新するデバイスの情報を記載した CSV ファイルまでのパス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストフィールド左部のフォルダボタンをクリックすると、ファイルチューザダイアログが表示されます。ダイアログから、CSV ファイルを選択することが可能です。 ・指定する CSV ファイルのフォーマットについては、2.2 章「デバイス ID 一括情報更新」-「デバイス ID 一括情報更新用ファイル」をご覧ください。

4. 更新結果を表示します。

4.2.7 デバイス無効化

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」-「デバイス無効化」をクリックします。



3. 「デバイス無効化」画面が表示されます。

デバイスの検索条件を入力し、「一覧表示」ボタンをクリックします。

条件を指定しない場合、CLM に登録されている全デバイスを検索します。



表 4-11 デバイス無効化 入力項目

項目	説明
デバイス ID 開始番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、開始番号を指定します。 本項目を指定する場合、終了番号または取得デバイス数を指定する必要があります。
デバイス ID 終了番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、終了番号を指定します。

取得デバイス数	最大取得件数を指定します。
---------	---------------

4. ボタンをクリックすると、CLM に登録されているデバイスのうち、状態が有効なデバイスの一覧が表示されます。

デバイス無効化

SecureWare/CLMに登録されているデバイスを無効化します。

検索条件

デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max:100デバイス)

<input type="checkbox"/>	デバイスID	状態	デバイス名
<input type="checkbox"/>	0000000001	Valid	win10-iot
<input type="checkbox"/>	0000000002	Valid	clmserver
<input type="checkbox"/>	0000000003	Valid	iotdevice01

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

一覧表示 無効化

表 4-12 デバイス無効化 一覧表示

項目	説明
デバイス ID	デバイスのデバイス ID。
状態	デバイスの状態。
デバイス名	デバイスのデバイス名。

5. 無効化対象のデバイスを選択します。デバイスは、複数選択することが可能です。デバイスを選択後、「無効化」ボタンをクリックします。

<input type="checkbox"/>	デバイスID	状態	デバイス名
<input type="checkbox"/>	0000000001	Valid	win10-iot
<input type="checkbox"/>	0000000002	Valid	clmserver
<input type="checkbox"/>	0000000003	Valid	iotdevice01

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

一覧表示 無効化

7. 無効化に成功すると、メッセージが表示されます。



4.2.8 デバイス有効化

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」 - 「デバイス有効化」をクリックします。



3. 「デバイス有効化」画面が表示されます。
デバイスの検索条件を入力し、「一覧表示」ボタンをクリックします。
条件を指定しない場合、CLM に登録されている全デバイスを検索します。

デバイス無効化

SecureWare/CLMに登録されているデバイスを無効化します。

検索条件

デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max100デバイス)

一覧表示 無効化

表 4-13 デバイス有効化 入力項目

項目	説明
デバイス ID 開始番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、開始番号を指定します。
デバイス ID 終了番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、終了番号を指定します。
取得デバイス数	最大取得件数を指定します。

4. ボタンをクリックすると、CLM に登録されているデバイスのうち、状態が無効または不明であるデバイスの一覧が表示されます。

デバイス有効化

SecureWare/CLMに登録されているデバイスを有効化します。

検索条件

デバイスID開始番号	startid	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	endid	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	recordcount	取得するデータ数 (Max100デバイス)

<input type="checkbox"/>	デバイスID	状態	デバイス名
<input type="checkbox"/>	0000000001	Invalid	win10-iot
<input type="checkbox"/>	0000000003	Invalid	iotdevice01

1 ページ中 1 ページ目 10 2 件中 1 - 2 を表示

一覧表示 有効化

表 4-14 デバイス無効化 一覧表示

項目	説明
デバイス ID	デバイスのデバイス ID。
状態	デバイスの状態。
デバイス名	デバイスのデバイス名。

5. 有効化対象のデバイスをを選択します。デバイスは、複数選択することが可能です。デバイスを選択後、「有効化」ボタンをクリックします。

<input type="checkbox"/>	デバイスID	状態	デバイス名
<input type="checkbox"/>	0000000001	Invalid	win10-iot
<input type="checkbox"/>	0000000003	Invalid	iotdevice01

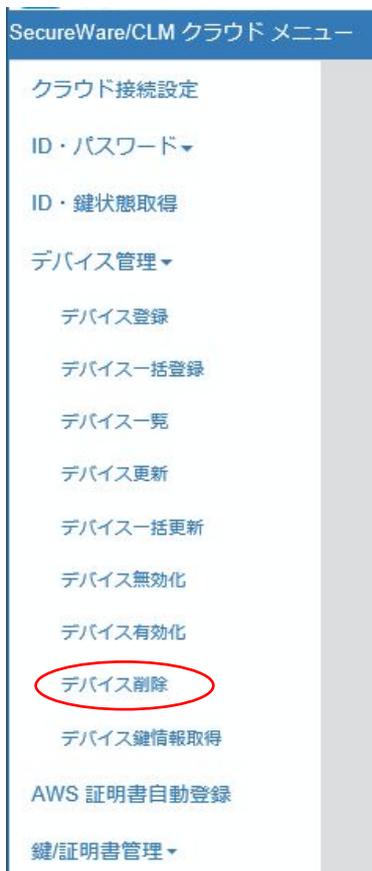
1 ページ中 1 ページ目 10 2 件中 1 - 2 を表示

一覧表示 有効化

8. 有効化に成功すると、メッセージが表示されます。

4.2.9 デバイス削除

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」 - 「デバイス削除」をクリックします。



3. 「デバイス削除」画面が表示されます。
デバイスの検索条件を入力し、「一覧表示」ボタンをクリックします。
条件を指定しない場合、CLM に登録されている全デバイスを検索します。

デバイス削除

SecureWare/CLMに登録されているデバイスを削除します。

検索条件		
デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max100デバイス)

表 4-15 デバイス削除 入力項目

項目	説明
デバイス ID 開始番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、開始番号を指定します。
デバイス ID 終了番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、終了番号を指定します。
取得デバイス数	最大取得件数を指定します。

4. ボタンをクリックすると、CLM に登録されているデバイスの一覧が表示されます。

デバイス削除

SecureWare/CLMに登録されているデバイスを削除します。

検索条件		
デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max100デバイス)

<input type="checkbox"/>	デバイスID	状態	デバイス名
<input type="checkbox"/>	0000000001	Valid	win10-iot
<input type="checkbox"/>	0000000002	Valid	clmserver
<input type="checkbox"/>	0000000003	Valid	iotdevice01

1 ページ中 1 ページ目 10 3 件中 1 - 3 を表示

一覧表示 削除

表 4-16 デバイス削除 一覧表示

項目	説明
デバイス ID	デバイスのデバイス ID。
状態	デバイスの状態。
デバイス名	デバイスのデバイス名。

5. 削除対象のデバイスを選択します。デバイスは、複数選択することが可能です。
 デバイスを選択後、「削除」ボタンをクリックします

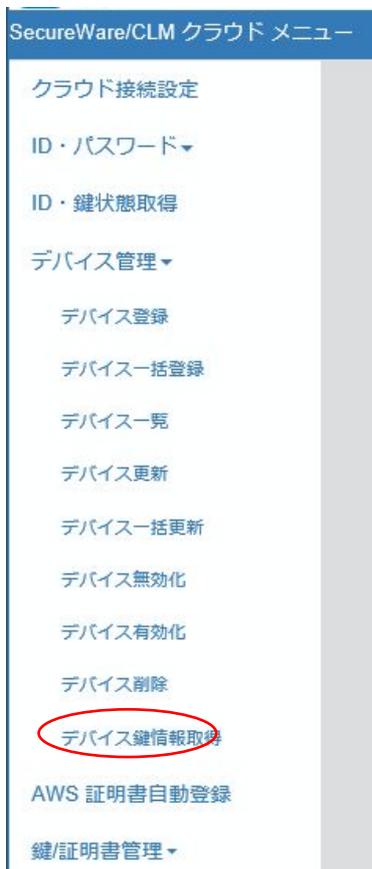


6. 削除に成功すると、メッセージが表示されます。



4.2.10 デバイス鍵情報取得

1. WebUI にログインしていない場合は、WebUI へログインします。
ログイン手順は、別紙「利用の手引き」の 5.3.2 章をご覧ください。
2. メニューの「デバイス管理」 - 「デバイス鍵情報取得」をクリックします。



3. 「デバイス鍵情報取得」画面が表示されます。

デバイスの検索条件を入力し、「一覧表示」ボタンをクリックします。

条件を指定しない場合、CLM に登録されている全デバイスを検索します。

デバイス鍵情報取得

SecureWare/CLMに登録されている指定したデバイスに紐づけられた鍵情報の詳細情報を取得します。

検索条件		
デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max100デバイス)

表 4-17 デバイス鍵情報取得 入力項目

項目	説明
デバイス ID 開始番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、開始番号を指定します。
デバイス ID 終了番号	検索対象デバイス ID の範囲のうち、終了番号を指定します。
取得デバイス数	最大取得件数を指定します。

4. ボタンをクリックすると、CLM に登録されているデバイスの一覧が表示されます。

デバイス鍵情報取得

SecureWare/CLMに登録されている指定したデバイスに紐づけられた鍵情報の詳細情報を取得します。

検索条件		
デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max100デバイス)

<input type="checkbox"/>	デバイスID	状態	登録	デバイス名	デバイスキー	コンピュータ名	OS名	OSバージョン	ア
<input type="checkbox"/>	0000000001	Valid	2019/3/12/ 19:1:26	win10-iot	lnB6XxwW	WIN10ENT-IOT	Windows	Windows 10 Enterprise	x8
<input type="checkbox"/>	0000000002	Valid	2019/3/22/ 20:30:27	clmserver	qTfeWdD1	WIN-BLUS9SE50	Windows	Windows Server 2016 Standard	AI
<input type="checkbox"/>	0000000003	Deleted	2019/4/16/ 11:8:19	iotdevice01.1555380699503	v3YoBqbi				
<input type="checkbox"/>	0000000004	Deleted	2019/4/16/ 11:11:49	iotdevice01.1555380737894	cwm0LZ89				
<input type="checkbox"/>	0000000005	Deleted	2019/4/16/ 11:12:20	iotdevice01.1555380759086	Fhk47ei9				
<input type="checkbox"/>	0000000006	Valid	2019/4/16/ 11:12:47	iotdevice02	KJNs9Ly7				

表 4-18 デバイス鍵情報取得 一覧表示

項目	説明
デバイス ID	デバイスのデバイス ID。
状態	デバイスの状態。
登録	デバイス ID 登録日
デバイス名	デバイスのデバイス名。
デバイスキー	デバイス ID のパスワード
コンピュータ名	デバイスのコンピュータ名。
OS 名	デバイスの OS 名。
OS バージョン	デバイスの OS のバージョン。
アーキテクチャ	デバイスのアーキテクチャ。
ホスト名	デバイスのホスト名。
IP アドレス	デバイスの IP アドレス。
MAC アドレス	デバイスの MAC アドレス。
CPU	デバイスの CPU 名。
メモリーサイズ	デバイスのメモリーサイズ。
製造番号	デバイスの製造番号。
資産番号	デバイスの資産番号

5. 鍵情報を取得したいデバイスを選択します。デバイスは、複数選択することが可能です。

デバイスを選択後、「鍵情報選択」ボタンをクリックします



6. 鍵情報の取得に成功すると、鍵情報の一覧が表示されます。

デバイス鍵情報取得

SecureWare/CLMに登録されている指定したデバイスに紐づけられた鍵情報の詳細情報を取得します。

検索条件

デバイスID開始番号	<input type="text" value="startid"/>	デバイスIDの開始番号
デバイスID終了番号	<input type="text" value="endid"/>	デバイスIDの終了番号
取得デバイス数	<input type="text" value="recordcount"/>	取得するデータ数 (Max100デバイス)

鍵番号	鍵タイプ	登録日時	有効期間	有効期限	状態	エイリアス	サブジェクト
3	cert	1552380239312	1583922238000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
10	cert	1553255900184	1584791959000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
11	cert	1553256132387	1584792131000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
12	cert	1553256799387	1584792798000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
13	cert	1553257190590	1584793189000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
14	cert	1553257255293	1584793254000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
15	cert	1553257965153	1584793964000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
16	cert	1553258377137	1584794376000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
17	cert	1553258436403	1584794435000	Valid	Valid		/CN=win10-iot
18	cert	1553258461075	1584794460000	Valid	Valid		/CN=win10-iot

6 ページ中 10 ページ目 54 件中 1 - 10 を表示

一覧表示 鍵情報検索

表 4-19 デバイス鍵情報取得 怪情報検索結果

項目	説明
鍵番号	鍵の鍵番号
鍵タイプ	鍵の種別。
登録日時	鍵の登録日時
有効期間	鍵の有効期限
有効期限	鍵の有効期限(状態)
状態	鍵のステータス。
エイリアス	鍵のエイリアス名 (共通鍵の場合のみ)
サブジェクト	鍵のサブジェクト (証明書の場合のみ)